

論文作成の手引き

札幌医科大学大学院保健医療学研究科

Graduate School of Health Sciences

Sapporo Medical University

2026 年度版

目次

博士課程前期

I	研究指導計画：標準スケジュール	1
II	修士論文研究計画書 審査について	
1.	審査のねらい	2
2.	審査の実施方法	2
3.	審査結果の報告	2
4.	取下げ	3
5.	倫理委員会等の承認および研究の開始	3
III	修士論文 審査について	
1.	修了要件	4
2.	論文審査基準	4
3.	審査の実施方法	5
4.	審査結果の報告	5
5.	公表	6
IV	作成・提出について	
1.	修士論文研究計画書／修士論文の作成について	7
2.	修士論文研究計画書／修士論文の提出について	10

博士課程後期

I	研究指導計画：標準スケジュール	13
II	博士論文研究計画書 審査について	
1.	審査のねらい	14
2.	審査の実施方法	14
3.	審査結果の報告	14
4.	取下げ	15
5.	倫理委員会等の承認および研究の開始	15
III	博士論文 審査について	
1.	修了要件	16
2.	提出要件	16
3.	参考論文の定義と条件	16
4.	論文審査基準	17
5.	審査の実施方法	17
6.	審査結果の報告	18
7.	公表	19

IV 作成・提出について

- 1. 博士論文研究計画書／博士論文の作成について 20
- 2. 博士論文研究計画書／博士論文の提出について 24

参考資料

- 1. 文献記載方法 26
- 2. チェックリスト 27

博士課程前期 様式集（記載例）

資料関係

- 様式 1-1 研究施設承諾書 28
- 様式 1-2 研究協力同意書 29

研究計画書関係

- 様式 2-1 修士論文研究計画書審査願 30
- 様式 2-2 修士論文研究計画書修正報告書 31
- 様式 2-3 修士論文研究計画書審査結果報告書 32
- 様式 2-4 修士論文研究計画書判定結果 33

論文関係

- 様式 3-1 修士論文審査願 34
- 様式 3-2 修士論文修正報告書 35
- 様式 3-3 修士論文審査終了報告書 36
- 様式 3-4 修士論文審査の内容の要旨 37
- 様式 3-5 修士論文判定結果 38

論文公表関係

- 様式 4-1 修士論文の内容の要旨 39

博士課程後期 様式集 (記載例)

資料関係

様式 5-1	研究施設承諾書	40
様式 5-2	研究協力同意書	41

研究計画書関係

様式 6-1	博士論文研究計画書審査願	42
様式 6-2	博士論文研究計画書修正報告書	43
様式 6-3	博士論文研究計画書審査結果報告書	44
様式 6-4	博士論文研究計画書判定結果	45

論文関係

様式 7-1	博士論文審査願	46
様式 7-2	論文目録	47
様式 7-3	履歴書	48
様式 7-4	審査委員推薦書	49
様式 7-5	履歴書 (研究科外審査委員用)	50
様式 7-6	共著者承諾書兼誓約書	51
様式 7-7	博士論文修正報告書	52
様式 7-8	博士論文審査終了報告書	53
様式 7-9	博士論文審査の内容の要旨	54
様式 7-10	博士論文判定結果	55

論文公表関係

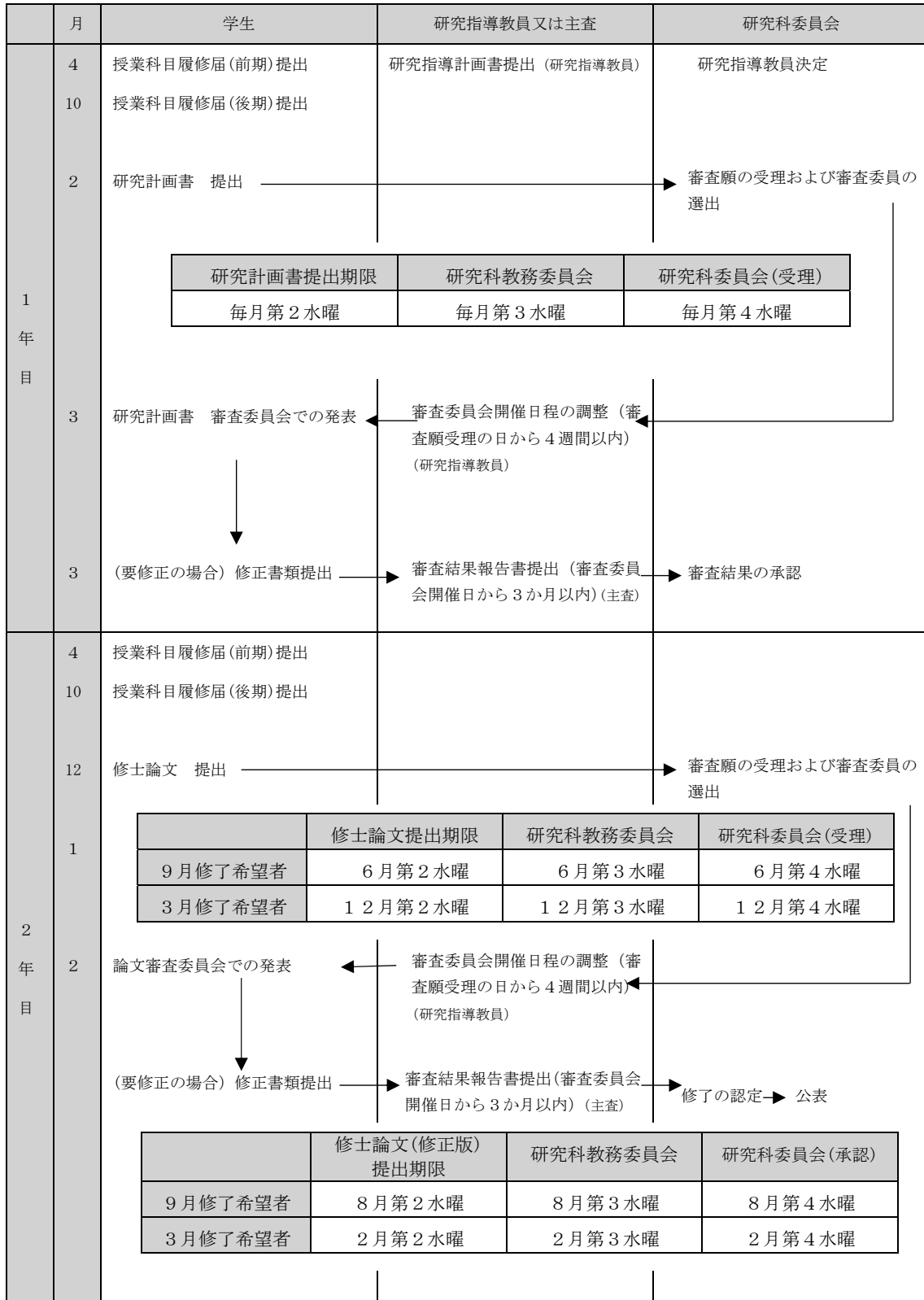
様式 8-1	博士論文のインターネット公表確認書	56
様式 8-2	博士の学位に係る論文の全文公表に係る理由申出書	57
様式 8-3	博士論文公表用表紙	58
様式 8-4	博士論文の内容の要旨	59
様式 8-5	博士論文公表願	60
任意様式	博士論文の要約	61

審査会関係

フロー図	審査用紙（ループリック）フロー図	62
様式 9-1	【審査会用】論文審査用紙（修士論文）	63
様式 9-2	【最終報告用】論文審査用紙（修士論文）	64
様式 10-1	【審査会用】論文審査用紙（博士論文）	65
様式 10-2	【最終報告用】論文審査用紙（博士論文）	66
様式 11-1	【審査会用】審査用紙（研究計画書）	67
様式 11-2	【最終報告用】審査用紙（研究計画書）	68

博士課程前期

I 研究指導計画：標準スケジュール



Ⅱ 修士論文研究計画書 審査について

1. 審査のねらい

研究計画の発表、及び質疑応答をとおして、研究の全体像を確認するとともに、よりよい研究とするための示唆を得ることをねらいとする。

審査では、テーマ、目的、方法の一貫性、及び論理的整合性、方法の妥当性、実行可能性、倫理的配慮など、計画内容の適切性について確認が行われる。

2. 審査の実施方法

1) 審査委員の選出

- (1) 研究計画書審査は3名（主査1名・副主査2名）で構成される審査委員により行う。
- (2) 審査委員は、保健医療学研究科の教授・准教授・講師とする。審査委員3名のうち教授は2名以上とする。
- (3) 審査委員は、研究科運営会議の議を経て、研究科委員会で決定する。
- (4) 審査委員主査は、研究計画書提出者の研究指導教員とする。

2) 審査会・審査委員会の開催

- (1) 修士論文研究計画書審査委員会（以下、審査委員会）は非公開とする。
- (2) 修士論文研究計画書審査会（研究計画書提出者による内容説明や質疑応答等）（以下、審査会）は公開とする。
- (3) 研究指導教員は審査委員決定後4週間以内に審査会の開催日時及び場所の調整をし、決定次第、学務課大学院係へ通知する。
- (4) 審査会の開催は、学務課大学院係を通じて学内に周知する。
- (5) 審査会では、研究計画書の内容説明と質疑応答を中心に行い、大学院学生が質疑に答えられるだけの十分な時間を設定する。
- (6) 審査は「【審査会用】審査用紙（研究計画書）（様式11-1）」の審査基準により評価する。

3. 審査結果の報告

- 1) 審査委員会の主査は、修士論文研究計画書審査委員会開催日から3か月以内に、審査結果を「修士論文研究計画書審査結果報告書（様式2-3）」に記載し、学務課大学院係へ1部提出することにより、研究科長に報告する。また、「【最終報告用】審査用紙（研究計画書）（様式11-2）」を学務課大学院係に提出する。
- 2) 審査の結果、修正を要した場合、大学院学生は「修正した修士論文研究計画書」、「修士論文研究計画書修正報告書（様式2-2）」を、学務課大学院係に提出することにより、研究科長に報告する。

提出書類一覧

	合格（要修正）	部数	合格（修正不要）・不合格	部数
大学院学生	修正した研究計画書	1		
	修士論文研究計画書修正報告書 [様式 2-2] ※1	1		
	メールまたは電子記憶媒体 ※2	1		
審査委員会 主査	修士論文研究計画書審査結果報告書 [様式 2-3]	1	修士論文研究計画書審査結果報告書 [様式 2-3]	1
	【最終報告用】審査用紙（研究計画書） [様式 11-2]	1	【最終報告用】審査用紙（研究計画書） [様式 11-2]	1

（注1）提出に用いた電子記憶媒体は返却しない。

（注2）メール提出の場合、ファイルの容量を 20MB 未満とし、直に添付し、送付すること。

※1 修正箇所については、修正した理由及び、その頁と行数を記載すること。なお、具体的な修正部分については、記載する必要はない。

※2 ① 修正した研究計画書
② 修士論文研究計画書修正報告書 [様式 2-2]

PDF データ
(各々データとして提出すること)

3) 研究科委員会で承認された審査結果は、学務課大学院係から大学院学生へ、修士論文研究計画書判定結果（様式 2-4）により通知する。

4. 取下げ

研究計画書を取下げの場合は、研究科長あて「修士論文研究計画書審査取下げ願（様式任意）」を学務課大学院係へ提出する。

5. 倫理委員会等の承認および研究の開始

本学の倫理委員会等の承諾を必要とする研究計画書は、研究計画書が研究科委員会で承認されると共に、札幌医科大学倫理委員会・IRB（臨床研究審査委員会）・動物実験委員会等の承認を得たうえで、「修士論文研究計画書審査結果報告書（様式 2-3）」で合格と報告された日付以降の研究開始を認める。

なお、計画書審査前に倫理審査を受けている場合、審査後に研究計画の変更が生じた際は必要に応じて変更申請を行うこと。

詳細については下記を参照すること。

・札幌医科大学倫理委員会（ポータルサイト）

<https://sapmedms.sharepoint.com/sites/x-kenkyu/SitePages/rinri.aspx>

・IRB（臨床研究審査委員会）

<https://web.sapmed.ac.jp/byoin/chiken/irb/>

・動物実験委員会（ポータルサイト）

<https://sapmedms.sharepoint.com/sites/x-kenkyu/SitePages/animal-testing.aspx>

Ⅲ 修士論文 審査について

1. 修了要件

- 1) 在学期間が2年以上あること。
- 2) 履修基準に基づく所定の授業科目について30単位以上（専門看護師コースは43単位以上）を修得していること。
- 3) 必要な研究指導を受けた上、修士論文（看護学専攻専門看護師コースにおいては、特定の課題研究の成果をもって代えることができる。以下同じ）を所定の期日までに提出し、その審査及び最終試験に合格していること。

※ 早期修了要件については、大学院履修概要（Ⅲ 教育課程）を参照すること。

2. 論文審査基準

1) 特別研究論文

(1) 達成水準

当該研究の位置付けに基づき、専門領域において貢献をなす活動を将来独自で行えるための基礎的知識と基礎的技能を備えていると認められること。

(2) 論文審査基準

- ① 問題意識、研究目的、テーマが明確であるか
- ② 研究テーマと論文内容の整合性がとれているか
- ③ 研究に独自性があるか
- ④ 研究の限界や今後の展望に言及しているか
- ⑤ 研究の全プロセスにおいて倫理的手続きが示され、適切に実行されているか

2) 専門看護師コース（課題研究論文）

(1) 達成水準

看護実践における質の向上に寄与する研究テーマであり、専門領域において貢献をなす活動を将来独自で行えるための基礎的知識と基礎的技能を備えていると認められること。

(2) 論文審査基準

- ① 問題意識、研究目的、テーマが明確であるか
- ② 研究テーマと論文内容の整合性がとれているか
- ③ 実践における有用性があるか
- ④ 研究の限界や今後の展望に言及しているか
- ⑤ 研究の全プロセスにおいて倫理的手続きが示され、適切に実行されているか

3. 審査の実施方法

1) 審査委員の選出

- (1) 論文審査は3名(主査1名・副主査2名)で構成される審査委員により行う。
- (2) 審査委員は、保健医療学研究科の教授・准教授・講師とする。審査委員3名のうち教授は2名以上とする。
- (3) 審査委員は、研究科運営会議の議を経て、研究科委員会で決定する。
- (4) 審査委員の互選により、主査1名を選任する。

2) 審査会・審査委員会の開催

- (1) 修士論文審査委員会(以下、審査委員会)は非公開とする。
- (2) 修士論文審査会(論文提出者による内容説明や質疑応答等)(以下、審査会)は公開とする。
- (3) 研究指導教員は審査委員決定後4週間以内に審査会の開催日時及び場所の調整をし、決定次第、学務課大学院係へ通知する。
- (4) 審査会の開催は、学務課大学院係を通じて学内に周知する。
- (5) 審査会では、論文の内容説明と質疑応答を中心に行い、大学院学生が質疑に答えられるだけの十分な時間を設定する。
- (6) 審査は「【審査会用】論文審査用紙(修士論文)(様式9-1)」の審査基準により評価する。

4. 審査結果の報告

- 1) 審査委員会の主査は、修士論文審査委員会開催日から3か月以内に、審査結果を「修士論文審査終了報告書(様式3-3)」及び「修士論文審査の内容の要旨(様式3-4)」により、研究科長に報告する(提出先は学務課大学院係とする)。また、「【最終報告用】論文審査用紙(修士論文)(様式9-2)」を学務課大学院係に1部提出することにより、研究科長に報告する。
- 2) 審査の結果、修正を要した場合、大学院学生は「修正した修士論文」、「修士論文修正報告書(様式3-2)」を学務課大学院係に提出することにより、研究科長に報告する。

3) 提出書類一覧

(1) 合格の場合

	要 修 正	部数	修 正 不 要	部数
大学院学生	修正した修士論文 ※1	1	メールまたは電子記憶媒体 ※3	1
	修士論文修正報告書 [様式 3-2] ※2	1		
	メールまたは電子記憶媒体 ※3 (英文の場合)	1		
	ネイティブチェックの証明書 ※4	1		
審査委員会 主査	修士論文審査終了報告書 [様式 3-3]	1	修士論文審査終了報告書 [様式 3-3]	1
	修士論文審査の内容の要旨 [様式 3-4] ※5	1	修士論文審査の内容の要旨 [様式 3-4] ※5	1
	【最終報告用】論文審査用紙 (修士論文) [様式 9-2]	1	【最終報告用】論文審査用紙 (修士論文) [様式 9-2]	1

(注1) 提出に用いた電子記憶媒体は返却しない。

(注2) メール提出の場合は、ファイルの容量を 20MB 未満とし、直に添付し、送付すること。

※1 資料関係に記載した電話番号等の個人情報は、必要に応じ伏字にすること。

原則、網掛け版の提出は不要。

※2 修正箇所については、修正した理由及び、その頁と行数を示すこと。なお、具体的な修正部分については、記載する必要はない。

※3 ① 修正した修士論文
② 修士論文の内容の要旨 [様式 4-1]
③ 修士論文修正報告書 [様式 3-2] ※要修正の場合

PDF データ
(各々データとして提出すること)

※4 審査後、大幅な修正があった場合には再度ネイティブチェックを受け、証明書を再提出する。大幅な変更がない場合は、再提出不要。

※5 学務課大学院係に紙媒体 1 部を提出し、PDF データをメールで送付すること。

(2) 不合格の場合

	不 合 格	部数
大学院学生	無し	
審査委員会 主査	修士論文審査終了報告書 [様式 3-3]	1
	【最終報告用】論文審査用紙 (修士論文) [様式 9-2]	1

4) 研究科委員会で承認された審査結果は、学務課大学院係から大学院学生へ、「修士論文判定結果 (様式 3-5)」により通知する。

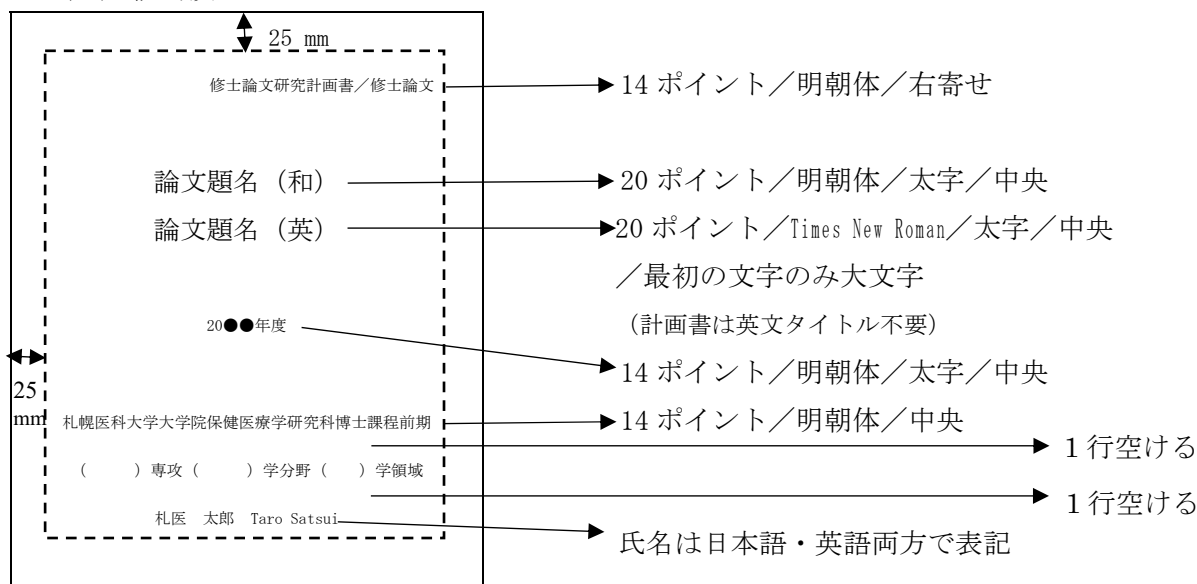
5. 公表

学務課大学院係は、修士論文判定結果が合格であった大学院学生の修士論文の内容の要旨 (様式 4-1) を、札幌医科大学学術機関リポジトリにおいて公表する。

IV 作成・提出について

1. 修士論文研究計画書／修士論文の作成について

1) 記載要領



(1) 用紙サイズ A4 判

(2) 本文の書き方 (目次も含む)

- ・縦置き横書き
- ・マージン 上 25 mm 下 25 mm 右 25 mm 左 25 mm
- ・禁則処理
- ・両面印刷 (表紙のみ片面印刷)

① 和文

- ・本文 10.5 ポイント／明朝体／左寄せ／40 文字 × 30 行
(章立て番号及びタイトルのみ太字にすること、和文中の英語表記、略語のアルファベット表記、引用文献の英語表記は 10.5 ポイント／Times New Roman にすること)

② 英文

- ・本文 12.0 ポイント／Times New Roman／左寄せ
(章立て番号及びタイトルのみ太字にすること)

(3) 修士論文研究計画書／修士論文の記載方法

① 頁、章立て

- 頁は、本文下中央に半角、算用数字で記載する (例「 - 5 - 」。本文の最初の頁より 1 ページとし、引用文献の最後のページを最終ページとする。
- 章立ての番号とタイトルは明朝体／太字とし、左寄せで構成する。

- iii 各章の最終文が用紙の途中で終了した場合は、2行空けて次章を始める。
- iv 行番号を表紙以外のすべてのページに記載すること。なお、最終提出の際は削除すること。

② 図表

- i 図表には必ず番号を付し、末尾に添付する。
- ii 図と表がある場合は、図の次に表の順とする。
- iii 図のタイトルは図の下中央に表記する。
- iv 表のタイトルは表の上中央に表記する。
- v 図表はA4判1ページにつき、1つまでとする。なお、1つの図表の中には複数のパネルを含めてもよい。横向きにレイアウトする場合は、図表の上を左側に配置する。図表を1ページ収めることで、文字が小さくなりすぎる場合には、複数のページにまたがってもよい。

③ 英文の原稿様式

- i 頁の記載は日本語原稿に準ずる。その他は、Handbook of American Psychological Associationに準ずる。
- ii 行はダブルスペース、使用フォントはTimes New Roman、12.0ポイントにする。頁の記載は日本語原稿に準ずる。
- iii chapter等は、Times New Roman/太字とする。

④ 文献記載方法（参考資料1参照）

※ 研究計画書・論文中に他の著作物から引用を行った場合、その出典の引用文献番号は上付きで明記すること。また、2つの文献を連続して引用した場合は^{1,2)}（コンマで区切る）、3つ以上の文献を連続して引用した場合は^{1~3)}（～で結ぶ）、連続と単発が重なる場合は^{1~3,12)}（～で結び、コンマで区切る）と記載すること。なお、いずれの場合も片括弧を用いること。

⑤ 資料

- i 研究施設承諾書および研究協力同意書、動物実験計画書等に関しては、資料のヘッダー（右上）に通し番号を付与し、本文中で説明すること。
- ii 包括同意を得ている場合は、担当部分を明確にすること。

2) 構成について（※基本的には、下記内容を含むこと）

(1) 修士論文研究計画書の構成について

① 表紙

- i 表題
- ii 所属・研究者名

② 目次

※ 図表及び資料にはタイトルを表記すること。

また、図と表は各々図 1, 図 2, …や表 1, 表 2, …と独立させて並べ、
図 1, 図 2, 表 1, 図 3, …等、混在させないこと。

③ 本文

第 1 章 緒言

- ・ 背景
- ・ 研究目的／課題／仮説（等）
- ・ 研究の意義
- ・ キーワード（5 個以内）
- ・ 用語の定義

第 2 章 先行研究／文献概観／文献検討

第 3 章 研究方法／研究デザインの種類

- ・ 研究対象と選定基準
- ・ データ収集の方法／用具
- ・ 使用する方法の妥当性と信頼性
- ・ データ分析／解析方法
- ・ 倫理的配慮

第 4 章 研究限界

④ 引用文献（英語文献の記載・和文献の英語表記は Times New Roman とする）

⑤ 図表

⑥ 資料

- i 研究施設承諾書（様式 1-1） ※本学で行う研究においては不要
- ii 研究協力同意書（様式 1-2）
- iii 倫理関係書類

※ すでに倫理委員会の承認を受けている場合は「研究実施計画判定書」の写し、動物実験を伴う研究は「動物実験計画書」の写しを添付すること。なお、修士論文研究計画書と研究実施計画判定書の題目が異なる場合（包括研究の一部を学位論文とする場合）は、本研究が包括研究においてどのような位置づけか明記した書類（書式は自由）および承認を受けた「研究実施申請書」、「実施計画書」を倫理関係書類に添付すること。また、修士論文研究計画書と動物実験計画書の題目（研究課題）が異なる場合も同様に、どのような位置づけか明記した書類（書式は自由）を倫理関係書類に添付すること。

(2) 修士論文の構成について

① 表紙

- i 表題
- ii 所属・研究者名

② 修士論文の内容の要旨（様式 4-1）

③ 目次

※ 図表及び資料にはタイトルを表記すること。

図と表は各々図 1, 図 2, …や表 1, 表 2, …と独立させて並べ、
図 1, 図 2, 表 1, 図 3, …等、混在させないこと。

④ 本文

第 1 章 緒言

- ・ 背景
- ・ 研究目的／課題／仮説（等）
- ・ 研究の意義
- ・ キーワード（5 個以内）
- ・ 用語の定義

第 2 章 先行研究／文献概観／文献検討

第 3 章 研究方法／研究デザインの種類

- ・ 研究対象と選定基準
- ・ データ収集の方法／用具
- ・ 使用する方法の妥当性と信頼性
- ・ データ分析／解析方法
- ・ 倫理的配慮

第 4 章 結果

第 5 章 考察

第 6 章 研究限界・今後の課題

第 7 章 結論

⑤ 謝辞

⑥ 引用文献（英語文献の記載・和文献の英語表記は Times New Roman とする）

⑦ 図表

⑧ 資料

- i 研究施設承諾書（様式 1-1） ※本学で行う研究においては不要
- ii 研究協力同意書（様式 1-2）
- iii ネイティブチェック証明書

⑨ 倫理委員会等の承認書の写し

2. 修士論文研究計画書／修士論文の提出について

1) 提出書類（※カラーの資料に関しては全てカラー印刷すること）

(1) 修士論文研究計画書

- ① 学位論文・研究計画書チェックリスト [参考資料 2] 1 部
- ② 修士論文研究計画書審査願 [様式 2-1] 1 部

- ③ 修士論文研究計画書（上左側をダブルクリップで綴じること） 2部
- ④ 修士論文研究計画書PDFデータ（メールまたは電子記憶媒体で提出すること） 1点
 （8,9ページに記載の「(1) 修士論文研究計画書の構成について」に含まれる全ての資料を記載の順で1つのPDFファイルに結合し、まとめて提出すること。）
 （注1）提出に用いた電子記憶媒体は返却しない。
 （注2）メール提出の場合ファイルの容量を20MB未満とし、直に添付し、送付すること。
 （注3）wordデータについては印刷物をスキャンしてPDFにするのではなく、wordをPDF変換することによってPDFデータを作成すること。

(2) 修士論文

- ① 学位論文・研究計画書チェックリスト [参考資料2] 1部
- ② 修士論文審査願 [様式3-1] 1部
- ③ 修士論文（上左側をダブルクリップで綴じること） 2部
- ④ PDFデータ（メールまたは電子記憶媒体で提出すること） 各1点
 ・修士論文PDFデータ（メールまたは電子記憶媒体で提出すること）
 （9,10ページに記載の「(2) 修士論文の構成について」に含まれる全ての資料を記載の順で1つのPDFファイルに結合し、まとめて提出すること。）
 ・修士論文の内容の要旨PDFデータ
 （内容の要旨のみ）
 （注1）提出に用いた電子記憶媒体は返却しない。
 （注2）メール提出の場合、ファイルの容量を20MB未満とし、直に添付し、送付すること。
 （注3）wordデータについては印刷物をスキャンしてPDFにするのではなく、wordをPDF変換することによってPDFデータを作成すること。

(3) 研究計画書、論文ともに提出してから審査会前に修正指示があった場合は、速やかに修正版2部およびPDFデータを提出すること。

- （注1）提出に用いた電子記憶媒体は返却しない。
 （注2）メール提出の場合、ファイルの容量を20MB未満とし、直に添付し、送付すること。
 （注3）wordデータについては印刷物をスキャンしてPDFにするのではなく、wordをPDF変換することによってPDFデータを作成すること。

2) 提出先

教育研究棟 1階 学務課大学院係 (hoken-grad@sapmed.ac.jp)

3) 提出の流れ

(1) 修士論文研究計画書

提出期限	研究科教務委員会	研究科委員会（受理）
毎月第2水曜	毎月第3水曜	毎月第4水曜

(2) 修士論文

	提出期限	研究科教務委員会	研究科委員会（受理）
9月修了希望者	6月第2水曜	6月第3水曜	6月第4水曜
3月修了希望者	12月第2水曜	12月第3水曜	12月第4水曜

(3) 修正後の修士論文

	提出期限	研究科教務委員会	研究科委員会（承認）
9月修了希望者	8月第2水曜	8月第3水曜	8月第4水曜
3月修了希望者	2月第2水曜	2月第3水曜	2月第4水曜

(※ いずれも、提出期限が休日・祝日の場合は、前日の平日を提出期限とする)

4) その他

提出された研究計画書の修正は、審査委員会終了まで認めない。

博士課程後期

I 研究指導計画：標準スケジュール

	月	学生	研究指導教員	研究科委員会											
1 年 目	4	授業科目履修届(前期)提出	研究指導計画書提出(研究指導教員)	研究指導教員決定											
	10	授業科目履修届(後期)提出													
2 年 目	4	授業科目履修届(前期)提出													
	5	研究計画書 提出		審査願の受理および審査委員の選出											
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>研究計画書提出期限</th> <th>研究科教務委員会</th> <th>研究科委員会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>毎月第2水曜</td> <td>毎月第3水曜</td> <td>毎月第4水曜</td> </tr> </tbody> </table>			研究計画書提出期限	研究科教務委員会	研究科委員会	毎月第2水曜	毎月第3水曜	毎月第4水曜						
	研究計画書提出期限	研究科教務委員会	研究科委員会												
毎月第2水曜	毎月第3水曜	毎月第4水曜													
6	研究計画書 審査委員会での発表	審査委員会開催日程の調整(審査願受理の日から4週間以内) (研究指導教員)													
10	(要修正の場合) 修正書類提出 授業科目履修届(後期)提出	審査結果報告書提出(審査委員会開催日から3か月以内)(主査)	審査結果の承認												
3 年 目	4	授業科目履修届(前期)提出													
	10	授業科目履修届(後期)提出													
	11	博士論文 提出		審査願の受理および審査委員の選出											
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>論文提出期限</th> <th>研究科教務委員会</th> <th>研究科委員会(受理)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月修了希望者</td> <td>6月第2水曜</td> <td>6月第3水曜</td> <td>6月第4水曜</td> </tr> <tr> <td>3月修了希望者</td> <td>11月第2水曜</td> <td>11月第3水曜</td> <td>11月第4水曜</td> </tr> </tbody> </table>				論文提出期限	研究科教務委員会	研究科委員会(受理)	9月修了希望者	6月第2水曜	6月第3水曜	6月第4水曜	3月修了希望者	11月第2水曜	11月第3水曜	11月第4水曜
	論文提出期限	研究科教務委員会	研究科委員会(受理)												
9月修了希望者	6月第2水曜	6月第3水曜	6月第4水曜												
3月修了希望者	11月第2水曜	11月第3水曜	11月第4水曜												
12	論文 審査委員会での発表	審査委員会開催日程の調整(審査願受理の日から4週間以内) (研究指導教員)													
	(要修正の場合) 修正書類提出	審査結果報告書提出(審査委員会開催日から3か月以内)(主査)	修了の認定 → 公表												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>博士論文(修正版)提出期限</th> <th>研究科教務委員会</th> <th>研究科委員会(承認)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月修了希望者</td> <td>8月第2水曜</td> <td>8月第3水曜</td> <td>8月第4水曜</td> </tr> <tr> <td>3月修了希望者</td> <td>2月第2水曜</td> <td>2月第3水曜</td> <td>2月第4水曜</td> </tr> </tbody> </table>				博士論文(修正版)提出期限	研究科教務委員会	研究科委員会(承認)	9月修了希望者	8月第2水曜	8月第3水曜	8月第4水曜	3月修了希望者	2月第2水曜	2月第3水曜	2月第4水曜	
	博士論文(修正版)提出期限	研究科教務委員会	研究科委員会(承認)												
9月修了希望者	8月第2水曜	8月第3水曜	8月第4水曜												
3月修了希望者	2月第2水曜	2月第3水曜	2月第4水曜												

Ⅱ 博士論文研究計画書 審査について

1. 審査のねらい

研究計画の発表、及び質疑応答をとおして、研究の全体像を確認するとともに、よりよい研究とするための示唆を得ることをねらいとする。

審査では、テーマ、目的、方法の一貫性、及び論理的整合性、方法の妥当性、実行可能性、倫理的配慮など、計画内容の適切性について確認が行われる。

2. 審査の実施方法

1) 審査委員の選出

- (1) 研究計画書審査は3名（主査1名・副主査2名）で構成される審査委員により行う。
- (2) 審査委員は、保健医療学研究科の教授・准教授から3名とする。但し、委員3名のうち2名以上を教授とし、准教授は1名以内とする。
- (3) 研究指導教員又は研究指導補助教員のうち1名は審査委員となることできる。
- (4) 審査委員の選出は、研究科運営会議で審査委員候補者4名以上を選出し、研究科委員会で投票により審査委員3名および次点を選出する。
- (5) 審査委員3名の互選により、主査1名を選任する。

2) 審査会・審査委員会の開催

- (1) 博士論文研究計画書審査委員会（以下、審査委員会）は非公開とする。
- (2) 博士論文研究計画書審査会（研究計画書提出者による内容説明や質疑応答等）（以下、審査会）は公開とする。
- (3) 研究指導教員は審査委員決定後4週間以内に審査会の開催日時及び場所の調整をし、決定次第、学務課大学院係へ通知する。
- (4) 審査会の開催は、学務課大学院係を通じて学内に周知する。
- (5) 審査会では、研究計画書の内容説明と質疑応答を中心に行い、大学院学生が質疑に答えられるだけの十分な時間を設定する。
- (6) 審査は「【審査会用】審査用紙（研究計画書）（様式11-1）」の審査基準により評価する。

3. 審査結果の報告

- 1) 審査委員会の主査は、博士論文研究計画書審査委員会開催日から3か月以内に、審査委員会での評価票に基づき、審査結果を「博士論文研究計画書審査結果報告書（様式6-3）」に記載し、学務課大学院係へ1部提出することにより、研究科長に報告する（コメント欄は明確に記載すること）。また、「【最終報告用】審査用紙（研究計画書）（様式11-2）」を学務課大学院係に提出する。
- 2) 審査の結果、修正を要した場合、大学院学生は修正した「博士論文研究計画書」、「博

士論文研究計画書修正報告書（様式 6-2）」を、学務課大学院係に提出することにより、研究科長に報告する。

提出書類一覧

	合格（要修正）	部数	合格（修正不要）・不合格	部数
大学院学生	修正した博士論文研究計画書	1		
	博士論文研究計画書修正報告書 [様式 6-2] ※	1		
	メールまたは電子記憶媒体	1		
審査委員会 主査	博士論文研究計画書審査結果報告書 [様式 6-3]	1	博士論文研究計画書審査結果報告書 [様式 6-3]	1
	【最終報告用】審査用紙（研究計画書） [様式 11-2]	1	【最終報告用】審査用紙（研究計画書） [様式 11-2]	1

※ 修正箇所については、修正した理由及び、その頁と行数を示すこと。なお、具体的な修正部分については、記載する必要はない。

（注1）提出に用いた電子記憶媒体は返却しない。

（注2）メール提出の場合、ファイルの容量を 20MB 未満とし、直に添付し、送付すること。

3) 研究科委員会で承認された審査結果は、学務課大学院係から大学院学生へ、「博士論文研究計画書判定結果（様式 6-4）」により通知する。

4. 取下げ

研究計画書を取下げの場合は、研究科長あて「博士論文研究計画書審査取下げ願（様式任意）」を学務課大学院係へ提出する。

5. 倫理委員会等の承認および研究の開始

本学の倫理委員会等の承諾を必要とする研究計画書は、研究計画書が研究科委員会で承認されると共に、札幌医科大学倫理委員会・IRB（臨床研究審査委員会）・動物実験委員会等の承認を得たうえで、「博士論文研究計画書審査結果報告書（様式 2-3）」で合格と報告された日付以降の研究開始を認める。

なお、計画書審査前に倫理審査を受けている場合、審査後に研究計画の変更が生じた際は必要に応じて変更申請を行うこと。

詳細については下記を参照すること。

・札幌医科大学倫理委員会（ポータルサイト）

<https://sapmedms.sharepoint.com/sites/x-kenkyu/SitePages/rinri.aspx>

・IRB（臨床研究審査委員会）

<https://web.sapmed.ac.jp/byoin/chiken/irb/>

・動物実験委員会（ポータルサイト）

<https://sapmedms.sharepoint.com/sites/x-kenkyu/SitePages/animal-testing.aspx>

Ⅲ 博士論文 審査について

1. 修了要件

- 1) 在学期間が3年以上あること。
- 2) 履修基準に基づく所定の授業科目について10単位以上を修得していること。
- 3) 必要な研究指導を受けた上、博士論文を所定の期日までに提出し、その審査及び最終試験に合格していること。

※ 早期修了要件については、大学院履修概要（Ⅳ 教育課程）を参照すること。

2. 提出要件

博士論文の提出は、下記の2つの要件のうち、いずれかを満たすものとする。

1) 博士論文審査を申請しようとする論文が刊行されている場合

- (1) 審査申請者（以下「申請者」）を筆頭著者とし、査読制度のある日本学術会議学術研究団体の刊行する学術誌、またはインパクトファクターを有する学術誌に掲載、あるいはアクセプトされた原著論文であること。
- (2) 当該原著論文の別刷の提出をもって、審査申請論文（以下「申請論文」）とする。
なお、別刷を提出できない場合は、当該学術誌の編集委員会等が発行する掲載証明書等を添付した投稿論文のコピーを提出する。
- (3) 申請論文が共著の場合は、審査申請時に全共著者からの承諾書兼誓約書（様式7-6）を提出する。

2) 1以外の場合

- (1) 未発表の申請論文に加えて、申請者を筆頭著者とし、全国誌レベルの学術誌に掲載、あるいはアクセプトされた論文1篇を参考論文として提出する。
- (2) 参考論文は、申請論文に合わせて別刷を提出する。別刷を提出できない場合は、学術誌の編集委員会等が発行する掲載証明書等を添付した投稿論文のコピーを提出する。

3. 参考論文の定義と条件

1) 参考論文の定義

- (1) 申請者の研究領域と関連性のある全国誌レベルの学術誌に掲載、あるいはアクセプトされた論文であること。
- (2) 申請論文提出時から過去5年以内に掲載、もしくはアクセプトされたものであること。

2) 参考論文は、基本的に以下に掲げる条件を満たすものとする。参考論文としての適否は、論文審査委員会で判断する。

- (1) 発行は学会や非営利団体である
- (2) 発行は定期刊行である

- (3) 原著論文が全体の半分以上を占める
- (4) 発行から5年以上経過している学術誌である
- (5) 査読制度を有している

4. 論文審査基準

1) 達成水準

自立した研究者としての取り組み、研究の精度、独自性、発展性が認められること。

2) 論文審査基準

- (1) 問題意識、研究目的、テーマが明確であるか
- (2) 研究テーマと論文内容の整合性がとれているか
- (3) 研究に独自性があるか
- (4) 研究の限界や今後の展望に言及しているか
- (5) 研究の全プロセスにおいて倫理的手続きが示され適切に実行されているか

5. 審査の実施方法

1) 審査体制

- (1) 博士論文審査委員会（以下、審査委員会）は、論文提出者の研究指導教員、研究指導補助教員、副指導教員を除き選出された審査委員によって構成する。
- (2) 研究指導教員は、提出論文の研究領域等に精通した者を当該論文の論文審査に係る審査委員候補者として、研究科内外を問わず研究科長に審査委員推薦書（様式 7-4）により2名まで推薦することができる。なお、研究科外の審査委員を推薦する場合は、履歴書（研究科外審査委員用）（様式 7-5）を添付すること。
- (3) 審査委員会は主査1名、副主査3名、計4名で構成する。ただし研究科外の審査委員は1名以内とする。論文審査委員会の主査は研究科に属する研究指導教員とする。
- (4) 審査委員会の主査は、論文提出者の研究指導教員に対し論文審査委員会への出席を求めることができる。また、必要に応じて意見を求めることができる。

2) 審査会・審査委員会の開催

- (1) 博士論文審査委員会は非公開とする。
- (2) 博士論文審査会（研究計画書提出者による内容説明や質疑応答等）（以下、審査会）は公開とする。
- (3) 研究指導教員は審査委員決定後4週間以内に審査委員会及び第1回審査会開催日時及び場所の調整をし、決定次第、学務課大学院係へ通知する。
- (4) 審査会の開催は、学務課大学院係を通じて学内に周知する。
- (5) 審査会は、論文内容および大学院学生の教育研究領域に関連する知識を審査する。

(6) 研究指導教員は、審査終了まで主査と連絡調整を行い、論文提出者の指導を行う

6. 審査結果の報告

- 1) 審査委員会の主査は、博士論文審査委員会開催日から3か月以内に、審査委員会での評価票に基づき、審査結果を「博士論文審査終了報告書(様式7-8)」及び「博士論文審査の内容の要旨(様式7-9)」、「博士の学位に係る論文の全文公表に係る理由申出書(様式8-2)」に記載し、学務課大学院係へ1部提出することにより、研究科長に報告する。なお、提出された「博士論文審査の内容の要旨(様式7-9)」は札幌医科大学学術機関リポジトリにおいて公表する。
- 2) 審査の結果、修正を要した場合、大学院学生は「修正した博士論文」、「博士論文修正報告書(様式7-7)」を、修正がない場合、審査会の経緯を「博士論文修正報告書(書式7-7)」の書式を準用し学務課大学院係に提出することにより、研究科長に報告する。
- 3) 提出書類一覧

(1) 合格の場合

	要修正	部数	修正不要	部数
大学院学生	修正した博士論文 ※1	1	メールまたは電子記憶媒体 ※6	1
	博士論文修正報告書 [様式7-7] ※2	1	博士論文修正報告書 [様式7-7] ※7	1
	インターネット公表確認書 [様式8-1] ※3	1	インターネット公表確認書 [様式8-1] ※3	1
	公表用表紙 [様式8-3]	1	公表用表紙 [様式8-3]	1
	博士論文公表願 [様式8-5]	1	博士論文公表願 [様式8-5]	1
	メールまたは電子記憶媒体 ※4	1		
	ネイティブチェックの証明書 ※5	1		
審査委員会 主査	博士論文審査終了報告書 [様式7-8]	1	博士論文審査終了報告書 [様式7-8]	1
	博士論文審査の内容の要旨 [様式7-9] ※8	1	博士論文審査の内容の要旨 [様式7-9] ※8	1
	【全文公表不可の場合のみ】 博士の学位に係る論文の全文公表に係る理由申出書 [様式8-2]	1	【全文公表不可の場合のみ】 博士の学位に係る論文の全文公表に係る理由申出書 [様式8-2]	1
	【最終報告用】論文審査用紙(博士論文) [様式10-2]	1	【最終報告用】論文審査用紙(博士論文) [様式10-2]	1

※1 資料関係に記載した電話番号等の個人情報は、必要に応じて伏字にすること。

原則、網掛け版の提出は不要。

※2 修正箇所については、修正した理由及び、その頁と行数を示すこと。なお、具体的な修正部分については、記載する必要はない。

※3 インターネット公表確認書で「全文公表不可」の場合・・・「博士論文の要約」(任意様式)が必要。任意様式は様式集(記載例)を参照

- ※4 (要修正)
- ① 修正した博士論文
 - ② 博士論文の内容の要旨 [様式8-4]
 - ③ 公表用表紙 [様式8-3] ……Word データ (その他はPDF データ)
 - ④ 博士論文公表願 [様式8-5]

注) 提出に用いたUSB メモリやCD-R 等の電子媒体は返却しない。

※5 審査後、大幅な修正があった場合には再度ネイティブチェックを受け、証明書を再提出する。
大幅な変更がない場合は、再提出不要。

- ※6 (修正不要) ① 博士論文
② 博士論文の内容の要旨 [様式 8-4]
③ 公表用表紙 [様式 8-3] …… Word データ (その他は PDF データ)
④ 博士論文公表願 [様式 8-5]

(注 1) 提出に用いた電子記憶媒体は返却しない。

(注 2) メール提出の場合、ファイルの容量を 20MB 未満とし、直に添付し、送付すること。

※7 修正がない場合、審査会の経緯を「博士論文修正報告書 (書式 7-7)」の書式を準用し作成する。

※8 学務課大学院係に紙媒体 1 部を提出し、PDF データをメールで送付すること。

(2) 不合格の場合

	不 合 格	部数
大学院学生	無し	
審査委員会 主査	博士論文審査終了報告書 [様式 7-8]	1
	【最終報告用】論文審査用紙 (博士論文) [様式 10-2]	1

4) 研究科委員会で承認された審査結果は、学務課大学院係から大学院生へ「博士論文判定結果 (様式 7-10)」により通知する。

7. 公表

博士論文判定結果 (様式 7-10) を受取り次第、全文公表可の場合はすみやかに博士論文公表用表紙 (様式 8-3 : Word データ)、全文、博士論文の内容の要旨 (様式 8-4) および博士論文公表願 (様式 8-5) のファイルを、全文公表不可の場合は博士論文公表用表紙 (様式 8-3 : Word データ)、博士論文の内容の要旨 (様式 8-4)、博士論文公表願 (様式 8-5) および博士論文の要約 (任意様式) のファイルをメールまたは電子記録媒体で、学務課大学院係へ提出すること。規定 (下記参照) により、札幌医科大学学術機関リポジトリにおいて公表する。

(札幌医科大学学位規定 第 16 条)

学長は、博士の学位を授与したときは、当該学位を授与した日から 3 月以内にその論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨を本学ウェブサイトにより公表するものとする。なお、修士の学位を授与したときについても同様とする。

(札幌医科大学学位規定第 17 条)

学位申請者は、学位を授与された日から 1 年以内に博士論文全文を「札幌医科大学学術機関リポジトリ」に掲載する義務がある。ただし、博士論文の全文が公表できないやむを得ない理由がある場合は、研究科委員会の承認を得た上で、全文に替えて内容の要約を公表することができる。なお、要約の公表が認められても、やむを得ない理由がなくなった場合には、全文を公表しなければならない。また、要約のみの公表中においては、求めに応じて博士論文の全文を研究科委員会において閲覧させる場合がある。

IV 作成・提出について

1. 博士論文研究計画書／博士論文の作成について

研究計画書審査のねらいを踏まえた内容とし、その形式を自由とする。

以下は記載例とする。

1) 博士論文研究計画書

(1) 表紙

- ① 表題
- ② 所属・研究者名

(2) 目次

※ 図表及び資料にはタイトルを表記すること。

図と表は各々図 1, 図 2, …や表 1, 表 2, …と独立させて並べ、

図 1, 図 2, 表 1, 図 3, …等、混在させないこと。

(3) 本文

※ 行番号を表紙以外のすべてのページに記載すること。なお、最終提出の際は削除すること。

第 1 章 緒言

- ・ 背景
- ・ 研究目的／課題／仮説（等）
- ・ 研究の意義
- ・ キーワード（5 個以内）
- ・ 用語の定義

第 2 章 先行研究／文献概観／文献検討

第 3 章 研究方法／研究デザインの種類

- ・ 研究対象と選定基準
- ・ データ収集の方法／用具
- ・ 使用する方法の妥当性と信頼性
- ・ データ分析／解析方法
- ・ 倫理的配慮

第 4 章 研究限界

(4) 引用文献（英語文献の記載・和文献の英語表記は Times New Roman とする）

(5) 図表

(6) 資料

- i 研究施設承諾書（様式 5-1） ※本学で行う研究においては不要

ii 研究協力同意書（様式 5-2）

iii 倫理関係書類

※ すでに倫理委員会の承認を受けている場合は「研究実施計画判定書」の写し、動物実験を伴う研究は「動物実験計画書」の写しを添付すること。なお、博士論文研究計画書と研究実施計画判定書の題目が異なる場合（包括研究の一部を学位論文とする場合）は、本研究が包括研究においてどのような位置づけか明記した書類（書式は自由）および承認を受けた「研究実施申請書」、「実施計画書」を倫理関係書類に添付すること。また、博士論文研究計画書と動物実験計画書の題目（研究課題）が異なる場合も同様に、どのような位置づけか明記した書類（書式は自由）を倫理関係書類に添付すること。

2) 博士論文

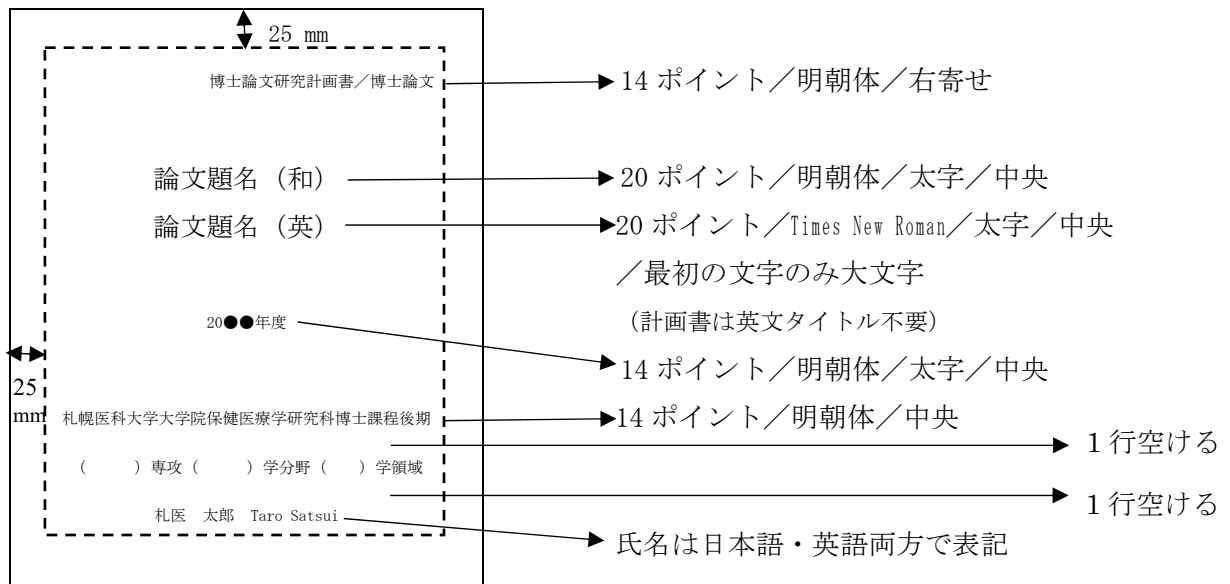
(1) 博士論文審査を申請しようとする論文が刊行されている場合 (p.16 2. 1))

この場合、アクセプトされたものが提出論文となる。論文提出は別刷りを提出する。別刷りの提出が難しい場合は、掲載予定の論文とともに掲載証明を提出すること。いずれも表紙は学位論文であることが分かるよう、下記の記載要領にならって作成・提出すること。

(2) (1) 以外の場合 (p.16 2. 2))

下記の記載要領にならって作成・提出すること。

記載要領



① 用紙サイズ A4 判

② 本文の書き方（目次も含む）

・縦置き横書き

・マージン 上 25 mm 下 25 mm 右 25 mm 左 25 mm

- ・禁則処理
- ・両面印刷（表紙のみ片面印刷）

A. 和文

- ・本文 10.5 ポイント／明朝体／左寄せ／40 文字 × 30 行
（章立て番号及びタイトルのみ太字にすること、和文中の英語表記、略語のアルファベット表記、引用文献の英語表記は 10.5 ポイント／Times New Roman にすること）

B. 英文

- ・本文 12.0 ポイント／Times New Roman／左寄せ
（章立て番号及びタイトルのみ太字にすること）

③ 博士論文の記載方法

A. 頁、章立て

- i 頁は、本文下中央に半角、算用数字で記載する（例「- 5 -」。本文の最初の頁より 1 ページとし、引用文献の最後のページを最終ページとする。
- ii 章立ての番号とタイトルは明朝体とし、左寄せで構成する。
- iii 各章の最終文が用紙の途中で終了した場合は、2 行空けて次章を始める。
- iv 行番号を表紙以外のすべてのページに記載すること。なお、最終提出の際は削除すること。

B. 図表

- i 図表には必ず番号を付し、末尾に添付する。
- ii 図と表がある場合は、図の次に表の順とする。
- iii 図のタイトルは図の下中央に表記する。
- iv 表のタイトルは表の上中央に表記する。
- v 図表は A 4 判 1 ページにつき、1 つまでとする。なお、1 つの図表の中には複数のパネルを含めてもよい。横向きにレイアウトする場合は、図表の上を左側に配置する。図表を 1 ページ収めることで、文字が小さくなりすぎる場合には、複数のページにまたがってもよい。

C. 英文の原稿様式

- i 頁の記載は日本語原稿に準ずる。その他は、Handbook of American Psychological Association に準ずる。
- ii 行はダブルスペース、使用フォントは Times New Roman、12.0 ポイントとする。頁の記載は日本語原稿に準ずる。
- iii chapter 等は、太字ゴシック体とする。

D. 文献記載方法（参考資料 1 参照）

- ※ 研究計画書・論文中に他の著作物から引用を行った場合、その出典の引用文献番号は上付きで明記すること。また、2 つの文献を連続して引用した場合は ^{1,2)}（コンマで区切る）、3 つ以上の文献を連続して引用した場合は ^{1~3)}（～で結ぶ）、

連続と単発が重なる場合は^{1~3,12)} (～で結び、コンマで区切る)と記載すること。
なお、いずれの場合も片括弧を用いること。

E. 資料

- i 研究施設承諾書および研究協力同意書、動物実験計画書等に関しては、資料のヘッダー（右上）に通し番号を付与し、本文中で説明すること。
- ii 包括同意を得ている場合は、担当部分を明確にすること。

④ 博士論文の構成について

A. 博士論文審査を申請しようとする論文が刊行されている場合 (p.16 2. 1))

- A. 表紙
 - i 表題
 - ii 所属・研究者名
- B. 博士論文の内容の要旨 (様式 8-4)
- C. 論文目録 (様式 7-2) ※参考論文を提出しない方は不要

B. 上記A. 以外の場合 (p.16 2. 2))

- A. 表紙
 - i 表題
 - ii 所属・研究者名
- B. 博士論文の内容の要旨 (様式 8-4)
- C. 論文目録 (様式 7-2)
- D. 目次 (図表及び資料にはタイトルを表記すること)
- E. 本文

第1章 緒言

- ・ 背景
- ・ 研究目的／課題／仮説 (等)
- ・ 研究の意義
- ・ キーワード (5個以内)
- ・ 用語の定義

第2章 先行研究／文献概観／文献検討

第3章 研究方法／研究デザインの種類

- ・ 研究対象と選定基準
- ・ データ収集の方法／用具
- ・ 使用する方法の妥当性と信頼性
- ・ データ分析／解析方法
- ・ 倫理的配慮

- 第4章 結果
- 第5章 考察
- 第6章 研究限界・今後の課題
- 第7章 結論
- F. 謝辞
- G. 引用文献（英語文献の記載・和文献の英語表記は Times New Roman とする）
- H. 図表
- I. 資料
 - i 研究施設承諾書（様式 5-1） ※本学で行う研究においては不要
 - ii 研究協力同意書（様式 5-2）
 - iii 動物実験計画書
 - iv 倫理関係書類
 - v その他必要な書類
 - ・ ネイティブチェック証明書
 - ・ その他、本研究に必要な書類
- J. 倫理委員会等の承認書の写し
- K. 参考論文の写し

2. 博士論文研究計画書／博士論文の提出について

1) 提出書類（※カラーの資料に関しては全てカラー印刷すること）

(1) 博士論文研究計画書

- ① 学位論文・研究計画書チェックリスト [参考資料 2] 1 部
- ② 博士論文研究計画書審査願 [様式 6-1] 1 部
- ③ 博士論文研究計画書（上左側をダブルクリップで綴じること） 2 部
- ④ 博士論文研究計画書 PDF データ（メールまたは電子記憶媒体で提出すること） 1 点
 (20, 21 ページに記載の「1) 博士論文研究計画書」に含まれる全ての資料を記載の順で 1 つの PDF ファイルに結合し、まとめて提出すること。
 (注 1) 提出に用いた電子記憶媒体は返却しない。
 (注 2) メールの場合は、ファイルの容量を 20MB 未満とし、直に添付し、送付すること。
 (注 3) word データについては印刷物をスキャンして PDF にするのではなく、word を PDF 変換することによって PDF データを作成すること。

(2) 博士論文

- ① 学位論文・研究計画書チェックリスト [参考資料 2] 1 部
- ② 博士論文審査願 [様式 7-1] 1 部
- ③ 博士論文（上左側をダブルクリップで綴じること） 2 部
- ④ 履歴書 [様式 7-3] 1 部
- ⑤ PDF データ（メールまたは電子記憶媒体で提出すること） 各 1 点
 - ・ 博士論文 PDF データ
 (23, 24 ページに記載の「④博士論文の構成について」に含まれる全ての資料を記載の順で 1 つの PDF ファイルに結合し、まとめて提出すること。内容の要旨及び論文目録も含む。)

・博士論文の内容の要旨（及び論文目録）PDFデータ

（論文目録の提出を要する場合は、内容の要旨の後ろに添付し、2つまとめて提出すること。）

（注1）提出に用いた電子記憶媒体は返却しない。

（注2）メールの場合は、ファイルの容量を20MB未満とし、直に添付し、送付すること。

（注3）履歴書の氏名は、学位記に印字する字体を記載すること。

（注4）wordデータについては印刷物をスキャンしてPDFにするのではなく、wordをPDF変換することによってPDFデータを作成すること。

- (3) 研究計画書、論文ともに提出してから審査会前に修正指示があった場合は、速やかに修正版2部及びPDFデータを提出すること。

2) 提出先

教育研究棟 1階 学務課大学院係 (hoken-grad@sapmed.ac.jp)

3) 提出の流れ

(1) 博士論文研究計画書

提出期限	研究科教務委員会	研究科委員会(受理)
毎月第2水曜	毎月第3水曜	毎月第4水曜

(2) 博士論文

	提出期限	研究科教務委員会	研究科委員会(受理)
9月修了希望者	6月第2水曜	6月第3水曜	6月第4水曜
3月修了希望者	11月第2水曜	11月第3水曜	11月第4水曜

(3) 修正後の博士論文

	提出期限	研究科教務委員会	研究科委員会(承認)
9月修了希望者	8月第2水曜	8月第3水曜	8月第4水曜
3月修了希望者	2月第2水曜	2月第3水曜	2月第4水曜

(※) いずれも、提出期限が休日・祝日の場合は、前日の平日を提出期限とする)

4) その他

提出された研究計画書の修正は、審査委員会終了まで認めない。

保健医療学研究科提出論文・研究計画書 文献記載方法

文献は、原則として、札幌保健科学雑誌の投稿規定に準じ、本文中に右上片括弧で附した引用番号順に記載する。但し、やむを得ない場合は、各専門領域の慣習に従うことを認める。なお、引用番号を付与しない参考文献に関しては、別途、参考文献一覧を作成すること。引用文献の記載にあたっては、EndNote アウトプットスタイルを各自ダウンロードの上、使用すること。(掲載元 札幌医科大学公式 HP トップページ→保健医療学部→札幌保健科学雑誌→書類のダウンロード URL : <https://web.sapmed.ac.jp/jp/school/health/>)

札幌保健科学雑誌引用文献記載方法：

- 1) 論文中に他の著作物からの引用を行う際は、著作権法で定められているルールに基づいて行う。
- 2) 引用範囲を超えた「転載」が必要な場合は、著者の責任において転載許諾の手続きをとる。
- 3) 引用文献は、原則として本文中に附した引用番号順に記載する。但し、やむを得ない場合は、各専門領域の慣習に従うことを認める。
- 4) 著者名は3名までを記載し、それ以上は、「～他」、「et al.」とする。
- 5) 英文誌名は、PubMed で用いられる Journals referenced in the NCBI Databases (最新版) <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals> に準じて記載する。和文誌名は、省略せずに記載する。
- 6) ピリオド、コンマ、ハイフン、数字等は半角とする。
- 7) 引用文献の記載方法：

雑誌：引用番号) 著者名：題名．雑誌名 巻：頁 - 頁，西暦年

(例)

- 1) 安川揚子, 中井夏子, 田野英里香：東日本大震災の被災地における看護師の医療支援活動報告．札幌保健科学雑誌 1：79-83, 2012
- 2) Walker JM, Akinsanya JA, Davis BD et al.: The nursing management of elderly patients with pain in the community: study and recommendations. *J Adv Nurs* 15: 1154-1161, 1990

単行本：

a. 引用番号) 著者名：書名．(巻)．(版)．発行地，発行所，西暦年，p 頁-頁

(例)

- 3) 秋山 洋：手術基本手技．東京，医学書院，1975，p57-76
- 4) Goligher JC, Duthie HL, Nixon HH: *Surgery of the anus rectum and colon*. London, Bailliere Tindall, 1980, p424-501

b. 引用番号) 著者名：分担項目名．編者名．書名．(巻)．(版)．発行地，発行所，西暦年，p 頁-頁

(例)

- 5) 小黒八七郎：大腸検査法の進歩．小黒八七郎，吉田成昭編．大腸癌一診断と治療．東京，日本メディカルセンター，1996，p69-78
- 6) Allen A, Hoskins AC: Colonic mucus health and disease. (Diseases of the colon, rectum, and anal canal.) Kirsner JB & Shorter RG ed. Rochester, Williams & Wilkins, 1988, p65-94

翻訳本：引用番号) 原著者名 (訳者名)：翻訳書名．(巻)．(版)．発行地，発行所，西暦年，p 頁-頁

(例)

- 7) Creswell JW, Plano-Clark VL (大谷順子訳)：人間科学のための混合研究法．京都，北大路書房，2010，p69-78
- 8) Cook AM, Hussey SM (上村智子訳)：作業療法実践のための電子支援技術．Pedretti LM ed. (宮前珠子，清水一，山口昇監訳)．身体障害の作業療法．(第4版)．東京．協同医書出版，1999，p583-599

電子文献：引用番号) 著者名：題名．誌名．西暦年，巻数：頁-頁．doi または入手先 URL，(アクセス年月日)

(例)

- 9) 松原茂樹，加藤芳秀，江川誠二：英文作成支援ツールとしての用例文検索システム ESCORT. 情報管理. 2008,51:251-259, [http://joi.jlc.jst.go.jp/JST.JSTAGE/johokanri/51.251_\(2008-08-15\)](http://joi.jlc.jst.go.jp/JST.JSTAGE/johokanri/51.251_(2008-08-15)).
- 10) Mabon SA, Misteli T: Differential recruitment of pre-mRNA splicing factors to alternatively spliced transcripts in vivo. *PLoS Biol*. 2005, 3: e374. doi:10.1371/journal.pbio.0030374, (2008-03-09).
- 11) 厚生労働省：C型肝炎について一般的なQ&A.改訂第6版. 2006, <http://www.med.or.jp/kansen/bandc/cqa.pdf>, (2007-10-26).

保健医療学研究科提出論文・研究計画書チェックリスト

学位論文記載要領にそったものであるかを確認のうえ、左欄にチェックし、論文または研究計画書と共に学務課に提出してください。

学籍番号

氏名

著者チェック

- 本文は上質紙(再生紙も可)を用い、両面印刷していますか。
- 全体に禁則処理をかけていますか。
- 引用文献リストの作成には、札幌保健科学雑誌の EndNote アウトプットスタイルを使用していますか。
- 【論文提出時】審査に必要と想定される期間を踏まえ、在籍期間は十分残っていますか。

表紙に関して

- 「修士論文研究計画書」「修士論文」「博士論文研究計画書」「博士論文」は右寄せ、14 ポイント、明朝体にしていますか。
- タイトルはセンタリング、20 ポイント／和文タイトル・明朝体、英文タイトル・Times New Roman /太字にしていますか（研究計画書の英文タイトルは不要）。
- 年度・課程・専攻・分野・領域・氏名はセンタリング、14 ポイント、明朝体にしていますか。

日本語論文の場合

- 40 文字×30 行、10.5 ポイントにしていますか。提出前にもう一度必ず数えてください。
- 頁の本文下中央に半角算用数字（例「- 5 -」）を用い、通し番号で頁数を記載していますか。
- 目次を付けていますか。
- 章立て等の番号とタイトルは明朝体／太字とし、本文は明朝体・英語表記は Times New Roman としていますか。
- 章立て等は、左寄せで構成していますか。
- 各章の最終文が用紙の途中で終了した場合は、2 行空けて次章を始めていますか。
- 引用文献の記載は文献記載方法（参考資料 1）に準じていますか。
- 図表は末尾に添付し、指定通りに配置していますか。
- 図表には図表番号が付いていますか。
- 図表のタイトルは図の場合は図の下中央、表の場合は表の上中央に付けていますか。
- 研究責任者・分担者等、研究組織体制の分かる倫理関係資料は添付していますか。
- 【論文提出時】ネイティブチェックを受けたことの証明書を添付していますか。

英語論文の場合

- マージンおよび頁の記載は、日本語論文に準じていますか。
- 行はダブルスペース、使用フォントは Times New Roman、12.0 ポイントになっていますか。
- chapter 等は、Times New Roman となっていますか。
- 上記規定の他は、Handbook of American Psychological Association に準じていますか。

博士課程前期

様式集（記載例）

下記のページから様式をダウンロードできます。

◆ HP 掲載場所

札幌医科大学公式 HP > 大学院 > 大学院保健医療学研究科 > 学位論文関係 > 学位論文関係様式集

(<https://web.sapmed.ac.jp/hokegaku/graduate/>)

※ 様式は必ず最新版（手引きに掲載している様式）をダウンロードして使用してください。

※ 様式に記載の日付は、すべて西暦で統一してご提出ください。

様式1-1 (修士)

研究施設承諾書

●●●●年●●月●●日

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長 様

●● ●● が本施設において、貴学保健医療学研究科博士課程前期の研究に関わるデータ収集および分析等を行うことを承諾します。

施設名 ●● ●●

施設代表者名又は

受入責任者名 ●● ●● (印)

当該様式は、本学で行う研究においては不要

様式1-2 (修士)

研究協力同意書

●●●●年●●月●●日

札幌医科大学大学院保健医療学研究科
実施責任者（研究指導教員）様

* 研究データ収集協力者（対象者または児童の保護者）に対する研究の趣旨および内容を書面で説明した後に、次のような「同意書」を交換する。

私は次の1-7の事項について了承し、調査・研究について協力いたします。

- 1 研究の目的及び方法
- 2 協力の任意性と撤回の自由
- 3 研究計画等の開示
- 4 予期される負担、危険性、利益
- 5 個人情報の保護
- 6 研究成果の公表
- 7 研究費、利益相反、及び対象者への経済的負担に関する事項

被験者の選択基準及び除外基準として、選択基準がある場合、基準を満たし、除外基準を満たしていないことを確認のうえ行うこと

連絡先は緊急時等に連絡が取れるよう昼間と夜間等併記すること

（被験者、保護者又は代理人）

氏名 _____ (印)

住所 _____

電話 _____

研究分担者：札幌医科大学大学院保健医療学研究科博士課程前期

●●専攻 ●●学分野 ●●学領域

院生名 ● ● ● ●

（連絡先）札幌市中央区南1条西17丁目

電話：011-611-2111（内線●●●●●●）

実施責任者：札幌医科大学保健医療学部作業療法学科

札幌医科大学大学院保健医療学研究科

●●専攻 ●●学分野 ●●学領域

教授 ● ● ● ●

（連絡先）札幌市中央区南1条西17丁目

電話：011-611-2111（内線●●●●●●）

研究指導教員の所属については学科・研究科の所属を併記すること

様式 2-1 (修士)

修士論文研究計画書審査願

●●●●年●●月●●日

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長 様

専攻 ●●専攻
分野 ●●学分野
教育研究領域 ●●学領域
学籍番号 ●●●●●●
氏名 ●● ●●

修士論文研究計画書を、次のとおり提出します。

題	●●●●●●●●●●
名	～●●●●●●●●●●～

研究指導教員 ●● ●● (印)
研究指導補助教員 ●● ●● (印)
研究指導補助教員 ●● ●● (印)

提出書類一覧

修士論文研究計画書審査願(本紙)	1部
修士論文研究計画書 ① 表紙 ② 目次 ③ 本文 ④ 引用文献 ⑤ 図表 ⑥ 資料(研究施設承諾書、研究協力同意書、動物実験委員会および倫理委員会等における審査結果通知書の写し又は承認申請書の写し等)	2部

様式 2-2 (修士)

修士論文研究計画書修正報告書

●●●●年●●月●●日

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長 様

日付は、(主査提出)様式 2-3 修士論文研究計画書審査
結果報告書の提出日以前とすること

専	攻	●●	専攻
分	野	●●	学分野
教育研究領域		●●	学領域
氏	名	●●	●●

審査委員会においてご指摘いただきました以下の点について回答し、加筆・修正を致しましたので報告いたします(研究者が必要と判断した修正項目も含まれます)。

題 名	●●●●●●●●●● ～●●●●●●●●●●～
--------	----------------------------

題名に変更のあった場合は、
修正前後のタイトルを併記すること

指摘・意見 1:

< 審査会での指摘点を記入する(書き始めは一字下げる)。 >

回 答

< 上記に対する意見・見解および修正のポイントを記載する。以下、指摘・意見毎に表を挿入して記載すること(書き始めは一字下げる)。 >

審査委員の要望に応じて、修正部分
を網掛けにした研究計画書を作成す
るなどの対応をとること

様式 2-3 (修士)

修士論文研究計画書審査結果報告書

●●●●年●●月●●日

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長 様

日付は、審査委員会の日付と同日か以降とすること

審査委員会

主査 ●● ●● (印)

副主査 ●● ●● (印)

副主査 ●● ●● (印)

下記の修士論文研究計画書審査結果について報告します。

記

専攻 ●●専攻

分野 ●●学分野

教育研究領域 ●●学領域

氏名 ●● ●●

題	●●●●●●●●●●
名	～●●●●●●●●●●～

修士論文研究計画書審査委員会の判定

合格

・ 不合格

コメント

(書き始めは一字下げる)

審査委員会で指摘のあった下記の～点について修正が認められたため、合格と判断する。

- 1.
- 2.
- 3.

様式 2-4 (修士)

修士論文研究計画書判定結果

●●●●年●●月●●日

●● ●● 様

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長

下記の修士論文研究計画書の判定結果について通知します。

記

専攻 ●●専攻
分野 ●●学分野
教育研究領域 ●●学領域
氏名 ●● ●●

題	●●●●●●●●●●
名	～●●●●●●●●●●～

判定 (研究科委員会 承認)

合格 ・ 不合格

様式 3-1 (修士)

修士論文審査願

●●●●年●●月●●日

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長 様

専攻 ●●専攻
 分野 ●●学分野
 教育研究領域 ●●学領域
 氏名 ●● ●● (印)

札幌医科大学学位規程第 4 条の規定により、修士論文に所定の書類を添えて提出しますので、修士論文の審査をお願いします。

論 文 題 名	●●●●●●●●●●●●●● ～●●●●●●●●●●●●●●～
------------------	------------------------------------

研究指導教員 ●● ●● (印)
 研究指導補助教員 ●● ●● (印)
 研究指導補助教員 ●● ●● (印)

提出書類一覧

修士論文審査願(本紙)	1部
修士論文 ① 要旨 ② 表紙 ③ 目次 ④ 本文 ⑤ 引用文献 ⑥ 図表 ⑦ 資料(研究施設承諾書、研究協力同意書、動物実験委員会および倫理委員会等における審査結果通知書の写し又は承認申請書の写し等)	2部

様式 3-2 (修士)

修士論文修正報告書

●●●●年●●月●●日

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長 様

日付は、(主査提出)様式 3-3 (修士) 修士論文審査終了報告書の提出日以前とすること

専攻 ●●専攻
分野 ●●学分野
教育研究領域 ●●学領域
氏名 ●● ●●

審査委員会においてご指摘いただきました以下の点について回答し、加筆・修正を致しましたので報告いたします (研究者が必要と判断した修正項目も含まれます)。

論文題名	修正前 : ●●●●●●●●●●●●●●●●
	修正後 : ●●●●●●●●●●●●●●●●

論文題名に変更のあった場合は、修正前後のタイトルを併記すること

指摘・意見 1 : ＜審査会での指摘点を記入する (書き始めは一字下げる)。＞
回答 ＜上記に対する意見・見解および修正のポイントを記載する。以下、指摘・意見毎に表を挿入して記載すること (書き始めは一字下げる)。＞

審査委員の要望に応じて、修正部分を網掛けにした論文を作成するなどの対応をとること

様式3-3 (修士)

審査終了日：合格日以後

修士論文審査終了報告書

●●●●年●●月●●日

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長 様

●●●●年●●月●●日開催の大学院保健医療学研究科委員会において
委嘱されました、●●●● 提出に係る修士論文の審査は、
●●●●年●●月●●日に終了しましたので、報告いたします。

合格日：
様式3-2の日付以後

審査委員会

主査	●● ●●	⑩
副主査	●● ●●	⑩
副主査	●● ●●	⑩

様式3-4 (修士)

修士論文審査の内容の要旨

専攻分野 教育研究領域 氏名	●●専攻 ●●学分野 ●●学領域 ●● ●●
論文題名	
審査委員	主査 ●● ●● (札幌医科大学) 副主査 ●● ●● (札幌医科大学) 副主査 ●● ●● (札幌医科大学)

様式 3-5 (修士)

修士論文判定結果

●●●●年●●月●●日

●● ●● 様

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長

下記の修士論文の判定結果について通知します。

記

専攻 ●●専攻
分野 ●●学分野
教育研究領域 ●●学領域
氏名 ●● ●●

論文 題名	●●●●●●●●●● ～●●●●●●●●●●～
----------	----------------------------

判定 (研究科委員会 承認)

合格 ・ 不合格

様式 4-1 (修士)

修士論文の内容の要旨

保健医療学研究科 博士課程前期 ●●専攻 ●●学分野 ●●学領域	氏 名 ●● ●● N a m e ●● ●●
論文題名 ●●●●●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●●●●●●●	
Title of the paper ●●●●●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●●●●●●●	
<p>和文は 10.5 ポイント / 明朝体 英文は 10.5 ポイント / Times New Roman で 記載すること</p> <p>キーワード (5 個以内) :</p> <p>Key words (5 個以内) :</p> <p>(和文要旨に続いて英文要旨を記載する)</p>	

- 1 論文内容の要旨は、研究目的・研究方法・研究結果・考察・結論等とし、簡潔に日本語で 1,500 字程度に要約する。併せて英語要旨も同様に作成する。
- 2 2 枚目からも外枠だけは必ず付ける。

博士課程後期

様式集（記載例）

下記のページから様式をダウンロードできます。

◆ HP 掲載場所

札幌医科大学公式 HP > 大学院 > 大学院保健医療学研究科 > 学位論文関係 > 学位論文関係様式集

(<https://web.sapmed.ac.jp/hokegaku/graduate/>)

※ 様式は必ず最新版（手引きに掲載している様式）をダウンロードして使用してください。

※ 様式に記載の日付は、すべて西暦で統一してご提出ください。

様式5-1 (博士)

研究施設承諾書

●●●●年●●月●●日

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長 様

●● ●● が本施設において、貴学保健医療学研究科博士課程後期の
研究に関わるデータ収集および分析等を行うことを承諾します。

施設名 ●● ●●

施設代表者名又は

受入責任者名 ●● ●● ⑩

当該様式は、本学で行う研究においては不要

様式5-2 (博士)

研究協力同意書

●●●●年●●月●●日

札幌医科大学大学院保健医療学研究科
実施責任者（研究指導教員）様

* 研究データ収集協力者（対象者または児童の保護者）に対する研究の趣旨および内容を書面で説明した後に、次のような「同意書」を交換する。

私は次の1-7の事項について了承し、調査・研究について協力いたします。

- 1 研究の目的及び方法
- 2 協力の任意性と撤回の自由
- 3 研究計画等の開示
- 4 予期される負担、危険性、利益
- 5 個人情報の保護
- 6 研究成果の公表
- 7 研究費、利益相反、及び対象者への経済的負担に関する事項

被験者の選択基準及び除外基準として、選択基準がある場合、基準を満たし、除外基準を満たしていないことを確認のうえ行うこと

連絡先は緊急時等に連絡が取れるよう昼間と夜間等併記すること

(被験者、保護者又は代理人)

氏名 _____ (印)
住所 _____
電話 _____

研究分担者：札幌医科大学大学院保健医療学研究科博士課程後期
●●専攻 ●●学分野 ●●学領域
院生名 ● ● ● ●
(連絡先) 札幌市中央区南1条西17丁目
電話：011-611-2111 (内線●●●●●●)

実施責任者：札幌医科大学保健医療学部作業療法学科
札幌医科大学大学院保健医療学研究科
●●専攻 ●●学分野 ●●学領域
教授 ● ● ● ●
(連絡先) 札幌市中央区南1条西17丁目
電話：011-611-2111 (内線●●●●●●)

研究指導教員の所属については学科・研究科の所属を併記すること

様式6-1 (博士)

博士論文研究計画書審査願

●●●●年●●月●●日

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長 様

専攻 ●●専攻
分野 ●●学分野
教育研究領域 ●●学領域
学籍番号 ●●●●
氏名 ●● ●●

博士論文研究計画書を、次のとおり提出します。

題	●●●●●●●●●●
名	～●●●●●●●●●●～

研究指導教員 ●● ●● (印)
研究指導補助教員 ●● ●● (印)
研究指導補助教員 ●● ●● (印)

提出書類一覧

博士論文研究計画書審査願(本紙)	1部
博士論文研究計画書 ① 表紙 ② 目次 ③ 本文 ④ 引用文献 ⑤ 図表 ⑥ 資料(研究施設承諾書、研究協力同意書、動物実験委員会および倫理委員会等における審査結果通知書の写し又は承認申請書の写し等)	2部

様式 6-2 (博士)

博士論文研究計画書修正報告書

●●●●年●●月●●日

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長 様

日付は、(主査提出)様式 6-3 博士論文研究計画書審査
結果報告書の提出日以前とすること

専	攻	●●	専攻
分	野	●●	学分野
教育研究領域		●●	学領域
氏	名	●●	●●

審査委員会においてご指摘いただきました以下の点について回答し、加筆・修正を致しましたので報告いたします（研究者が必要と判断した修正項目も含まれます）。

題 名	修正前：●●●●●●●●●●
	修正後：●●●●●●●●●●

論文題名に変更のあった場合は、修正前後のタイトルを併記すること

指摘・意見 1：

< 審査会での指摘点を記入する（書き始めは一字下げる）。 >

回 答

< 上記に対する意見・見解および修正のポイントを記載する。以下、指摘・意見毎に表を挿入して記載する（書き始めは一字下げる）。 >

審査委員の要望に応じて、修正部分を網掛けにした研究計画書を作成するなどの対応をとること

様式 6-3 (博士)

博士論文研究計画書審査結果報告書

●●●●年●●月●●日

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長 様

日付は、審査委員会の日付と同日か以降とすること

審査委員会

主査 ●● ●● (印)

副主査 ●● ●● (印)

副主査 ●● ●● (印)

下記の博士論文研究計画書審査結果について報告します。

記

専攻 ●●専攻
分野 ●●学分野
教育研究領域 ●●学領域
氏名 ●● ●●

題	●●●●●●●●●●
名	～●●●●●●●●●●～

博士論文研究計画書審査委員会の判定

合格 ・ 不合格

コメント

(書き始めは一字下げる)

審査委員会で指摘のあった下記の～点について修正が認められたため、合格と判断する。

- 1.
- 2.
- 3.

様式 6-4 (博士)

博士論文研究計画書判定結果

●●●●年●●月●●日

●● ●● 様

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長

下記の博士論文研究計画書の判定結果について通知します。

記

専攻 ●●専攻
分野 ●●学分野
教育研究領域 ●●学領域
氏名 ●● ●●

題	●●●●●●●●●●
名	～●●●●●●●●●●～

判定 (研究科委員会 承認)

合格 ・ 不合格

様式 7-1 (博士)

博士論文審査願

●●●●年●●月●●日

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長 様

専攻 ●●専攻

分野 ●●学分野

教育研究領域 ●●学領域

氏名 ●● ●● (印)

札幌医科大学学位規程第 4 条の規定により、博士論文に所定の書類を添えて提出しますので、博士論文の審査をお願いします。

論文 題 名	●●●●●●●●●● ～●●●●●●●●●●～
--------------	----------------------------

研究指導教員 ●● ●● (印)

研究指導補助教員 ●● ●● (印)

研究指導補助教員 ●● ●● (印)

提出書類一覧

博士論文審査願(本紙)	1部
博士論文 ① 要旨 ② 表紙 ③ 目次 ④ 本文 ⑤ 引用文献 ⑥ 図表 ⑦ 資料(研究施設承諾書、研究協力同意書、動物実験委員会および倫理委員会等における審査結果通知書の写し又は承認申請書の写し等)	2部

様式 7-2 (博士)

論文目録

氏 名	
主論文	
参考論文	

様式 7-4(博士)

審査委員推薦書

年 月 日

大学院保健医療学研究科長 様

研究指導教員 _____ 印

論文審査のため、以下の者を審査委員としたいので推薦します。

氏 名	
所 属	
審査対象 論文	題名 専攻・分野・領域 氏名
推薦理由	

共著者承諾書兼誓約書

札幌医科大学大学院
保健医療学研究科長 様

共著者 _____ 印
所 属 _____

このたび、私たちの共著による次の論文を_____ (共著者) が学位論文として提出することを承諾します。

また、私は次の論文を過去に学位論文として使用したことがなく、かつ、今後、学位の主論文として使用しないことを誓約いたします。

なお、この件に関し、いつでも照会に応ずる用意があることを申し添えます。

記

1 題 名

2 著 者 名 (全員)

3 掲 載

誌 第 _____ 卷 第 _____ 号 _____ 頁 (西暦 _____ 年 _____ 月)

4 共 著 理 由

5 連 絡 先

様式 7-7(博士)

博士論文修正報告書

●●●●年●●月●●日

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長 様

日付は、(主査提出)様式 7-9 博士論文審査終了報告書の提出日以前とすること

専攻 ●●専攻
分野 ●●学分野
教育研究領域 ●●学領域
氏名 ●● ●●

審査委員会においてご指摘いただきました以下の点について回答し、加筆・修正を致しましたので報告いたします(研究者が必要と判断した修正項目も含まれます)。

論文 題 名	変更前: ●●●●●●●●●●
	変更後: ●●●●●●●●●●

論文題名に変更のあった場合は、修正前後のタイトルを併記すること

指摘・意見 1: ＜審査会での指摘点を記入する(書き始めは一字下げる)。＞
回 答 ＜上記に対する意見・見解および修正のポイントを記載する。以下、指摘・意見毎に表を挿入して記載すること(書き始めは一字下げる)。＞

審査委員の要望に応じて、修正部分を網掛けにした論文を作成するなどの対応をとること

様式7-8 (博士)

審査終了日：合格日以後

博士論文審査終了報告書

●●●●年●●月●●日

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長 様

●●●●年●●月●●日開催の大学院保健医療学研究科委員会において
委嘱されました、●●●●提出に係る博士論文の審査は、
●●●●年●●月●●日に終了しましたので、報告いたします。

合格日：
様式7-7の日付以後

審査委員会

主査	●● ●●	⑩
副主査	●● ●●	⑩
副主査	●● ●●	⑩
副主査	●● ●●	⑩

様式7-9 (博士)

博士論文審査の内容の要旨

専攻分野 教育研究領域 氏名	●●専攻 ●●学分野 ●●学領域 ●● ●●
論文題名	
審査委員	主査 ●● ●● (札幌医科大学) 副主査 ●● ●● (札幌医科大学) 副主査 ●● ●● (△△大学) 副主査 ●● ●● (札幌医科大学)
研究指導教員	●● ●●

様式 7-10 (博士)

博士論文判定結果

●●●●年●●月●●日

●● ●● 様

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長

下記の博士論文の判定結果について通知します。

記

専攻 ●●専攻
分野 ●●学分野
教育研究領域 ●●学領域
氏名 ●● ●●

論文 題名	●●●●●●●●●● ～●●●●●●●●●●～
----------	----------------------------

判定 (研究科委員会 承認)

合格 ・ 不合格

様式8-1 (博士)

様式 7-8 審査終了日以後

博士論文のインターネット公表確認書

●●●●年●●月●●日

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長 様

(ふりがな) ●● ●●
学位被授与者氏名 ●● ●● (印)

次のとおり学位申請論文のインターネット公表(大学機関リポジトリ掲載)について、報告いたします。

記

学位の区分	課程	学位の種類	博士 (●●学)
論文題名	●●●●●●●●●●●●●● ～●●●●●●●●●●●●●●～		
全文公表について該当するものをチェックしてください	<input type="checkbox"/> 全文公表可能 (全文公表することに問題はありません) <input type="checkbox"/> 条件付きで全文公表可能 (1年以内の全文公表可能の場合) <input type="checkbox"/> 年 月 日以後、全文公表可能 <input type="checkbox"/> 著者校正版(査読前、査読後)の全文公表可能 <input type="checkbox"/> 全文公表不可 (1年以上の全文公表が不可の場合) <input type="checkbox"/> インターネット公表ができない内容を含む <input type="checkbox"/> 学術誌や電子ジャーナルへ掲載又は掲載予定であり、出版社等の出版契約内容や公開基準によって、全文をインターネット公表できない <input type="checkbox"/> 特許申請中であり、博士論文の全文をインターネット公表することができない <input type="checkbox"/> その他、博士論文の全文をインターネット公表した場合、学位申請者に不利益を生じる <p style="text-align: center;">※不利益が生じる具体的理由を記載してください。</p> <p>()</p>		

(※注) やむを得ない理由により博士論文の全文を公表できない場合は、当該博士論文の全文に代えてその内容の要約したものを提出してください。なお、博士論文の要約は、「博士論文の内容の要旨」と同じ内容でも構いませんが、タイトルを「博士論文の要約」として提出してください。

様式 8-2 (博士)

博士の学位に係る論文の全文公表に係る理由申出書

●●●●年●●月●●日

札幌医科大学
大学院保健医療学研究科長 様

博士論文
審査委員主査 ●● ●● (印)

次の博士の学位に係る論文につきましては、論文審査の結果、札幌医科大学学位規程第17条但し書きの規定に定める理由があると認められるので、御承認いただきたく申出書を提出します。

記

1 学位申請者及び学位論文

専攻 ●●専攻
氏名 ●● ●●
学籍番号 ●●●●●●
論文題名 ●●●●●●

2 全文公表できない理由 ※ 該当する項目をチェックしてください。

- インターネット公表ができない内容を含む
 学術誌や電子ジャーナルへ掲載又は掲載予定であり、出版社等の出版契約内容や公開基準によって、全文をインターネット公表できない
 特許申請中であり、博士論文の全文をインターネット公表することができない
 その他、博士論文の全文をインターネット公表した場合、学位申請者に不利益を生じる
※不利益が生じる具体的な理由を記載してください。

{ }

3 審査の結果

札幌医科大学学位規程第17条但し書きの「やむを得ない理由」

(有 ・ 無)

様式 8-3 (博士)



北海道公立大学法人
札幌医科大学
 Sapporo Medical University

SAPPORO MEDICAL UNIVERSITY INFORMATION AND KNOWLEDGE REPOSITORY

Title 論文題目	●●●●●
Author(s) 著者	●● ●●
Report Number 報告番号 ※	
Degree number 学位記番号 ※	
Degree name 学位の種別	博士 (●●学)
Issue Date 学位取得年月日 ※	20●●年3月31日
Source 発表紙情報	
Doc URL ※	
DOI ※	
Resource Version	

- (注) 1 ※欄は、事務局学務課で記入するので、記入しないこと。
 2 本様式は、博士論文の全文又は要約による公表のほか、本学が行う論文の内容の要旨及び審査の結果の要旨の公表を行う場合に使用するものとし、必要に応じて記載内容を編集して使用する場合があります。
 3 本様式を提出後に、記載内容について変更が生じた場合は、変更後の本様式（電子データを含む。）を学務課に提出すること。

様式 8-4 (博士)

博士論文の内容の要旨

保健医療学研究科 博士課程後期 ●●専攻 ●●学分野 ●●学領域	氏 名 ●● ●● N a m e ●● ●●
論文題名 ●●●●●●●●●●●●●●●● ～●●●●●●●●●●●●●●●～	
Title of the paper ●●●●●●●●●●●●●●●● ～●●●●●●●●●●●●●●●～	
<p>和文は 10.5 ポイント / 明朝体 英文は 10.5 ポイント / Times New Roman で 記載すること</p> <p>キーワード (5 個以内) :</p> <p>Key words (5 個以内) :</p> <p>(和文要旨に続いて英文要旨を記載する)</p>	

- 1 論文内容の要旨は、研究目的・研究方法・研究結果・考察・結論等とし、簡潔に日本語で 1,500 字程度に要約する。併せて英語要旨も同様に作成する。
- 2 2 枚目からも外枠だけは必ず付ける。

様式 8-5 (博士)

年 月 日

博士論文公表願

札幌医科大学学長 様

氏名 印

私が執筆した下記の論文について、札幌医科大学学術機関リポジトリにより公表をお願い致します。
 なお、公表にあたっては、複製権・公衆送信権の利用について許諾します。

公表方法	全文・要約	公表時期 (全文を直ちに公表できない場合に記載)	年月日以降
ふりがな 姓(漢字)		ふりがな 名(漢字)	
姓(ローマ字)		名(ローマ字)	
論文題目			
論文題目(英語)			
学位取得年月日	年 月 日		
学位記番号	第 号		
学位の種類	医学 看護学 作業療法学 理学療法学		
勤務先			
所属部署			
住所			
E-mail			
電話番号(内線)			

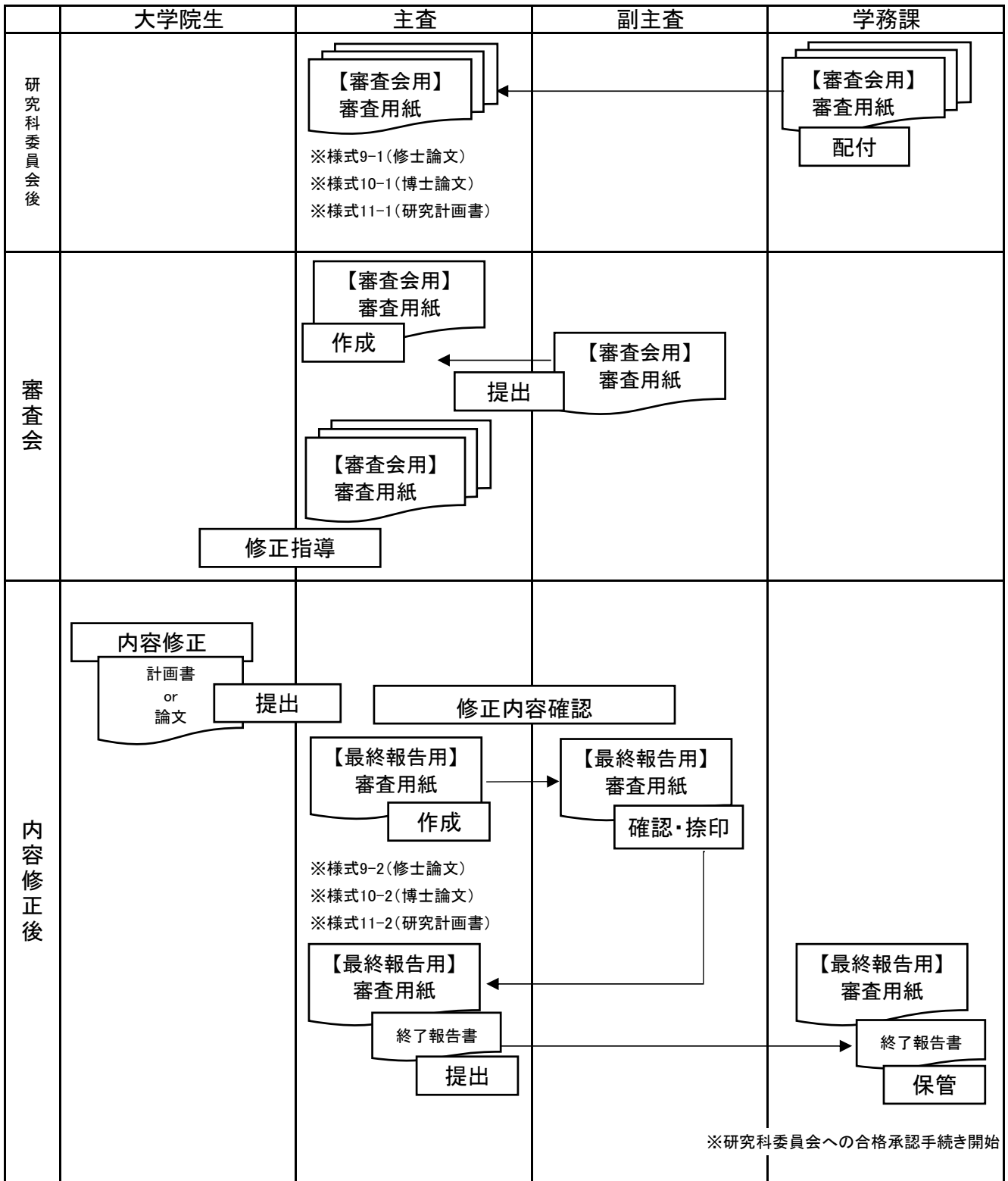
- (注) 1 「公表方法」及び「学位の種類」は該当するものを記載すること。
 2 学位を授与される前に提出する場合は、「学位取得年月日」、「学位記番号」の記載は不要であること。

任意様式

博士論文の要約

氏 名 ●● ●● N a m e ●● ●●
論文題名 ●●●●●●●●●●●●●●●● ～●●●●●●●●●●●●●●●～
Title of the paper ●●●●●●●●●●●●●●●● ～●●●●●●●●●●●●●●●～
<div data-bbox="826 887 1358 1279" style="background-color: black; color: white; padding: 10px; border: 1px solid black;"><p>和文のみ 10.5 ポイント／明朝体</p><p>研究目的・研究方法・研究結果・考察・結論等とし、簡潔に日本語で要約</p></div>

審査用紙(ループリック) フロー図



【審査会用】 論文審査用紙 (修士論文)

論文題名			全体評価	5・4・3・2・1
博士課程前期	専攻分野	領域	審査年月日	年 月 日
学籍番号	氏名		審査委員氏名	

【博士課程前期修了時の達成水準】

〔修士論文コース〕	専門領域において貢献をなす活動を自らで行えるための基礎的知識と基礎的技術を備えていると認められる
〔専門看護師コース〕	課題研究で作成した論文は看護実践における質の向上に寄与する研究テーマであり、専門領域において貢献をなす活動を自ら行えるための基礎的知識と基礎的技術を備えていると認められる

【評価点】

5：水準を十分に達成し、内容が特に優れている 4：水準を達成し、内容が優れている 3：水準を概ね達成している 2：水準に達していない 1：内容が不適切である

		審査基準					コメント
1	問題意識、研究目的、テーマが明確であるか	研究テーマに関連した文献を十分に検討している					
2-1)	研究テーマと論文内容の整合性がとれているか 1) 論旨の一貫性	当該分野の研究として評価・学問上の意義が認められる 目的と結果に整合性がある 方法と結果に整合性がある 研究目的に沿って、結果に基づいた考察がなされている 妥当な研究方法がとられている					
2-2)	研究テーマと論文内容の整合性がとれているか 2) 内容の論理性	結果が過不足なく示され、結果に基づく考察がなされており、文献を適切に引用し、論理的飛躍がない 研究計画書と整合性がある					
3	研究の独自性 〔修士論文コース〕 実践における有用性 〔専門看護師コース〕	他の研究とは異なる何らかの特徴を有し、新たな知見（適用の拡大・新しい視点を含む）が得られている 研究が看護の知識・技術の向上、プログラムの開発など、看護実践の場に役立つ何らかの特徴を有している					
4	研究の限界と展望	研究の限界や今後の展望に言及している					
5	研究の全プロセスにおいて倫理的手続きが示され適切に行われているか	研究の倫理性が検討され、研究の実施、公表において倫理的問題が発生しない 他の研究、文献等からの盗用、剽窃、利益相反がない					

【最終報告用】 論文審査用紙 (修士論文)

論文題名		
博士課程前期	専攻分野	領域
学籍番号	氏名	

全体評価	5・4・3・2・1	
審査終了日	年 月 日	
審査委員氏名	主査	印
	副主査	印
	副主査	印

【博士課程前期修了時の達成水準】

(修士論文コース)	専門領域において貢献をなす活動を将来独自で行えるための基礎的知識と基礎的技能を備えていると認められる
(専門看護師コース)	課題研究で作成した論文は看護実践における質の向上に寄与する研究テーマであり、専門領域において貢献をなす活動を将来独自で行えるための基礎的知識と基礎的技能を備えていると認められる

【評価点】

5：水準を十分に達成し、内容が特に優れている 4：水準を達成し、内容が優れている 3：水準を概ね達成している 2：水準に達していない 1：内容が不適切である

		審査基準					
		5	4	3	2	1	コメント
1	問題意識、研究目的、テーマが明確であるか	研究テーマに関連した文献を十分に検討している					
2-1)	研究テーマと論文内容の整合性がとれているか 1) 論旨の一貫性	当該分野の研究として評価・学問上の意義が認められる 目的と結果に整合性がある 方法と結果に整合性がある					
2-2)	研究テーマと論文内容の整合性がとれているか 2) 内容の論理性	研究目的に沿って、結果に基づいた考察がなされている 妥当な研究方法がとられている 結果が過不足なく示され、結果に基づき考察がなされており、文献を適切に引用し、論理的飛躍がない 研究計画書と整合性がある					
3	研究の独自性 (修士論文コース) 実践における有用性 (専門看護師コース)	他の研究とは異なる何らかの特徴を有し、新たな知見 (適用の拡大・新しい視点を含む) が得られている 研究が看護の知識・技術の向上、プログラムの開発など、看護実践の場に役立つ何らかの特徴を有している					
4	研究の限界と展望	研究の限界や今後の展望に言及している					
5	研究の全プロセスにおいて倫理的手続きが示され適切に実行されているか	研究の倫理性が検討され、研究の実施、公表において倫理的問題が発生しない 他の研究、文献等からの盗用、剽窃、利益相反がない					

審査会にて、「教育研究領域」に関連する知識について審査し、修士 (看護学) (理学療法学) (作業療法学) (作業療法学) の学位授与に値すると認められた。

【審査会用】 論文審査用紙 (博士論文)

論文題名	5・4・3・2・1
博士課程後期	年 月 日
学籍番号	審査委員氏名

領域	氏名
----	----

【博士課程後期修了時の達成水準】
自立した研究者としての取り組み、研究の精度、独自性、発展性が認められる

【評価点】

5：水準を十分に達成し、内容が特に優れている 4：水準を達成し、内容が優れている 3：水準を概ね達成している 2：水準に達していない 1：内容が不適切である

		審査基準					コメント
		5	4	3	2	1	
1	問題意識、研究目的、テーマが明確であるか	研究テーマに関連した文献を十分に検討している					
2-1)	研究テーマと論文内容の整合性がとれているか 1) 論旨の一貫性	目的と結果に整合性がある 方法と結果に整合性がある 研究目的に沿って、結果に基づいた考察がなされている					
2-2)	研究テーマと論文内容の整合性がとれているか 2) 内容の論理性	妥当な研究方法がとられている 結果が過不足なく示され、結果に基づく考察がなされており、文献を適切に引用し、論理的飛躍がない 研究計画書と整合性がある					
3	研究の独自性	他の研究とは異なる何らかの特徴を有し、新たな知見（適用の拡大・新しい視点を含む）が得られている					
4	研究の限界と展望	研究の限界や今後の展望に言及している					
5	研究の全プロセスにおいて論理的手続きが示され適切に実行されているか	研究の論理性が検討され、研究の実施、公表において倫理的問題が発生しない 他の研究、文献等からの盗用、剽窃、利益相反がない					

【最終報告用】 論文審査用紙 (博士論文)

論文題名		領域	
博士課程後期			
学籍番号	氏名		

【博士課程後期修了時の達成水準】
自立した研究者としての取り組み、研究の精度、独自性、発展性が認められる

全体評価	5・4・3・2・1	
審査終了日	年 月 日	
審査委員氏名	主査	印
	副主査	印
	副主査	印
	副主査	印

【評価点】

5：水準を十分に達成し、内容が特に優れている 4：水準を達成し、内容が優れている 3：水準を概ね達成している 2：水準に達していない 1：内容が不適切である

		5	4	3	2	1	コメント
審査基準							
1	問題意識、研究目的、テーマが明確であるか	研究テーマに関連した文献を十分に検討している					
2-1)	研究テーマと論文内容の整合性がとれているか 1) 論旨の一貫性	当該分野の研究として評価・学問上の意義が認められる 目的と結果に整合性がある 方法と結果に整合性がある 研究目的に沿って、結果に基づいた考察がなされている					
2-2)	研究テーマと論文内容の整合性がとれているか 2) 内容の論理性	妥当な研究方法がとられている 結果が過不足なく示され、結果に基づく考察がなされており、文献を適切に引用し、論理的飛躍がない 研究計画書と整合性がある					
3	研究の独自性	他の研究とは異なる何らかの特徴を有し、新たな知見(適用の拡大・新しい視点を含む)が得られている					
4	研究の全プロセスにおいて倫理的手続きが示され適切に実行されている	研究の限界や今後の展望に言及している					
5	研究の全プロセスにおいて倫理的手続きが示され適切に実行されているか	研究の倫理性が検討され、研究の実施、公表において倫理的問題が発生しない 他の研究、文献等からの盗用、剽窃、利益相反がない					

審査会にて、「教育研究領域」に関連する知識について審査し、博士(看護学)(理学療法学)(作業療法学)の学位授与に値すると認められた。

【審査会用】 審査用紙（研究計画書）

論文題名			全体評価	A・B・C
博士課程前期	専攻分野 〔修士論文コース〕	領域	審査年月日	年 月 日
学籍番号	氏名		審査委員氏名	

【修了時の達成水準】

博士課程前期	専門領域において貢献をなす活動を将来独自で行えるための基礎的知識と基礎的技能を備えていると認められる
博士課程前期 〔専門看護師コース〕	課題研究で作成した論文は看護実践における質の向上に寄与する研究テーマであり、専門領域において貢献をなす活動を将来独自で行えるための基礎的知識と基礎的技能を備えていると認められる
博士課程後期	自立した研究者としての取り組み、研究の精度、独自性、発展性が認められる

【評価点】

A：適切 B：一部修正 C：全体修正

	審査基準			コメント
	A	B	C	
1 独自性	研究テーマに関連した文献を必要かつ十分に検討している 研究テーマは当該分野の研究として評価・学問上の意義が認められる 研究テーマは、各課程の修了時の達成水準を満たしているものである			
2 論理性	研究テーマ、目的、方法に一貫性がある			
3 妥当性	研究目的を達成するのに適切な研究方法である 研究方法（対象者の選定、データ収集方法、分析方法）は具体的に記述されている 研究の実施に際して使用する書類（説明書、同意書、同意撤回書、実験プロトコル、調査票、インタビューガイドなど）が適切に準備されている			
4 倫理的配慮	当該研究分野が準拠する倫理指針に基づき倫理的配慮が漏れなく具体的に記述されている 既に倫理審査の承認を受けている場合は、承認書の写し、倫理審査申請時の計画書が不備なく添付されている			
5 実現性	修業年限で実現可能な研究内容である			

【最終報告用】 審査用紙（研究計画書）

論文題名		
博士課程前期	専攻分野	領域
学籍番号	氏名	

【修了時の達成水準】

博士課程前期	専門領域において貢献をなす活動を将来独自で行えるための基礎的知識と基礎的技能を備えていると認められる
博士課程前期 〔専門看護師コース〕	課題研究で作成した論文は看護実践における質の向上に寄与する研究テーマであり、専門領域において貢献をなす活動を将来独自で行えるための基礎的知識と基礎的技能を備えていると認められる
博士課程後期	自立した研究者としての取り組み、研究の精度、独自性、発展性が認められる

【評価点】

A：適切 B：一部修正 C：全体修正

全体評価	A・B・C	
審査終了日	年	月 日
審査委員氏名	主査	印
	副主査	印
	副主査	印

		審査基準			コメント
		A	B	C	
1	独自性	研究テーマに関連した文献を必要かつ十分に検討している 研究テーマは当該分野の研究として評価・学問上の意義が認められる 研究テーマは、各課程の修了時の達成水準を満たしているものである 研究テーマ、目的、方法に一貫性がある			
2	論理性	研究目的を達成するのに適切な研究方法である 研究方法（対象者の選定、データ収集方法、分析方法）は具体的に記述されている 研究の実施に際して使用する書類（説明書、同意書、同意撤回書、実績プロトコル、調査票、インタビューガイドなど）が適切に準備されている			
3	妥当性	当該研究分野が準拠する倫理指針に基づき倫理的配慮が漏れなく具体的に記述されている 既に倫理審査の承認を受けている場合は、承認書の写し、倫理審査申請時の計画書が不備なく添付されている			
4	倫理的配慮	修業年限で実現可能な研究内容である			
5	実現性				

保健医療学研究科の皆さんへ

博士論文の インターネット 公表をあきらめ ないで！

インターネット公表は義務

文部科学省の定める学位規則により、学位授与日から「3ヵ月以内に要旨」「1年以内に全文」をインターネット公表することが**義務付け**られています。

やむを得ない事由がある場合は要約に代えることができますが、あくまで例外です。

学位論文を公表することで、多くの人に読まれたり、引用されたりする機会となりますので、ぜひ積極的に公表してください。

こんなときは「IKOR」内の申請フォームから申請を！

- 博士論文の学術雑誌への投稿を取りやめた。
- 博士論文をゴールドオープンアクセス誌に投稿し、掲載された。
- 博士論文を学術雑誌に掲載した。エンバーゴ（公開猶予期間）経過後に公表できる。



札幌医科大学学術機関リポジトリikor

修了後も
ラクラクネット申請

札幌医科大学附属総合情報センター図書館
(事務局：情報推進室図書係)
library@sapmed.ac.jp

インターネット公表の方法

○学位取得時

学務課への学位申請手続きに含まれています。皆さんが学位論文を学務課に提出すると、図書館に回付され、図書館は「博士論文のインターネット公表確認書」をもとに公開可否を判断し札幌医科大学学術機関リポジトリ「ikor」に掲載します。

○学位取得後

学術雑誌へ投稿予定のため学位取得時には全文を公表できない場合も、投稿後に出版社の規定するエンバーゴ（公開猶予期間）を過ぎれば公表可能です。

公表可能時期が確定しましたら、「ikor」内の申請フォームから申請をしてください。（備考に学位論文であること、学位取得年度、公表可能年月日を記載してください。）

FAQ

Q. エンバーゴがよく分かりません。

A. 出版社の投稿規程やウェブサイトを確認してください。不明な場合は図書館にご相談ください。

Q. インターネットで公表できない事情がある場合はどうしたらよいですか。

A. 以下の「やむを得ない事由がある場合」は、全文公表に代えて「要約」を公表します。**事由がなくなった場合は速やかに公表してください。**なお、「やむを得ない事由がある場合」であっても、国立国会図書館へは「全文」を提出する義務があり、図書館が手続きを行っています。

【やむを得ない事由】

- ①多重公表を禁止する学術雑誌への掲載・出版刊行（予定を含む）
- ②個人情報保護等の観点からインターネット上で公表することができないもの
- ③その他（特許出願、電子媒体ではないものなど）

Q. 学位取得後に、学術雑誌へ博士論文を投稿したところ、校正・査読等で内容の修正を行いました。公表する博士論文を差し替える必要はありますか。

A. 公表する博士論文は「学位審査終了時」の内容であるため、論文を差し替える必要はありません。なお、公表する学位論文とは別に、学術雑誌に掲載された版も「ikor」へ登録可能です。「ikor」内の申請フォームからご申請ください。

Q. 博士論文の学術雑誌への投稿を取りやめました。大学に連絡は必要ですか。

A. 「博士論文のインターネット公表確認書」に「全文公表不可（1年以上の全文公表が不可の場合）」と記載して提出した場合は、改めて公表申請が必要です。「ikor」内の申請フォームから申請してください。

2026年度 論文作成の手引き

2026年3月 発行

問合せ先 北海道公立大学法人 札幌医科大学
事務局学務課大学院係

事務室 教育研究棟 1階 学務課

メールアドレス hoken-grad@sapmed.ac.jp

電話 011-611-2111 (内線 23770)

取扱時間 平日 8:45～17:30